を認め

(四)北鐵管理權及3所有

製す可き必要はロシ ・シートを新に調印 ・シートを新に調印

二二北級交渉開始以來十七ケ月を輕適してゐる質情に繼み、バランス・シートル新に調験すべき。 事は後然之を必要と認める 事は後然之を必要と認める 事は後然之を必要と認める 事は後然之を必要と認める 事に後然之を必要と認める 事に後然之を必要と認める

に関しては次の

か履行せらる可き事と指数の支持方法、譲渡王統

を要求す

場合の限度を保證して置けて、一つ日本風の金比率設定に関して、一つ日本風の金比率設定に関しては、時の主張を容れ、日印通商協定の場合の如く風賞替急落の協定の場合の如く風質をは、

に對する日本政府の保護方法も 協定にするな妥當と認む 「就復選を至當と認む、物資支拂」 未定、又物資の內容は大騰事前

などである、なは今の歌…後始めての歌

後始めての署長會語であり

地方風水生視祭を終へ郷里金湾に東京五日發回通」林陵相は蘭西

機構問題

事件参加者に對する

英國、妥協案を提出か

日米の軍縮方針に鑑みて

の意見

干リ

C 1)ソ聯は日本紙幣園為管相場の流動性に鑑み偽定極結の調印書時を基準さら、園資の金比率)を設定すべき事を必要される。

 \bigcirc

| 一北級交渉開始以來十

5

する用意を有する、但一億七千萬圓を承認

談に於いて原則的協定に到達し ソ聯政府は廣田、ユレニエフ會

を通じ満河岬に整書されたソ歌岬を通じ満河岬にのあるか、わか外移宿にの出て、あるか、わか外移宿

回協定の

政府の保護な要求する 政府の保護な要求する を以て北鐵管理權並 を以て北鐵管理權並

(五)第一回の現金支援後における物質による支援は二ケ年のる物質によるでき事を要求年版(選によるでき事を要求年、物質によるでき事を要求年、物質による支援に関してよ日・政府の保證を要求する、担つ物質の内容は事前に之た決定する必要を認めず

五日發》滿少

政府の党を持たが

に関しては日本

を物質による支援は二ケ年ののご確認する のご確認する のご確認する

GCロシア側従業員の 引揚に關しては三ケ 引揚に關しては三ケ

CK)ロシア側從業員の引揚 は能ふべくは四ヶ月 の豫告期間を設け、 の豫告期間を設け、

忽墜帰低し、八田縣長も除京な念の意外に厳懲なるな深く姿感し、

は十八名出職主づ密日の談部にるの を映画で、会長及歌館長指職・調査の を映画で、会長及歌館長指職・調査の を映画で、会長及歌館長指職・調査の とく代表を歌語した後、經濟社な を受ける。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をで

5 るのではない。氏、あの感識を見しま。 と非ゆかなくてはならの用事があい。 気に、被女はその方角に、別に

き動かして来た戦争に身をまかせたあって、いよく一衆酷に心を突

に心を突

、姆上接移願次館は四

機構問題に顕

急遽

よのと如く、抗務高局は極力これとして現地を維持する窓を整へたさして現地を維持する窓を整へた

敗むる意思は經濟にないが、能中であるが、結局閣議の決定家

拓務兩

戦十八名出職まつ當日の護地たる いて監査闘野職役も残職の下に委っ 年後二時より市役所議員控室にお の下に委引

ないないっか戦座の方へ歩いてゐる だん深くなってゆくに從つて、灯が かいろの濃くなる街の、ひごく戦 が いないない が だん 一さつきは、 黄昏のいろが、だん

途なほ幾多の紅餘川折な地れるもだ根窩の開きながし、細して ぬるので前だ根窩の開きながしてぬるので前

國防

見地

全滿署長會議

ンフ

V

は政治干與に非ず

ました 林陸相語る

▲阿部良之助氏(工學博士、中央 本西村秀雄氏(京都帝大教授)同の 本西村秀雄氏(京都帝大教授)同の 本西村秀雄氏(京都帝大教授)同の 本西村秀雄氏(京都帝大教授)同の

氏(満洲國宮內府醴官)

二十分大連港外着の豫定

な感じはじめることは自然だ。そ切れなくなつた良人が、外の女性

- 一変のない夫婦生活に、やり

ながら、趾先の向く方へ歩みたす

で、決定的の具體深なの後半にある經濟上の諸問題につきない、之こても関れた點が議論の的に

あす招魂祭後

要求條

北鐵讓渡本格的商議

國代表對案を練



昇 未 鈴 人行教 治代喜本橋 人帽編 盛武 村本 人刷印 地番一卅町関公東市連大 壯粗日州萬社會式株所行教 はツャシイブ

警察官委員會

現地の

機構案反對運動緩和策

祭を終つた。

三上於蒐

煤煙防止委員會

試寫會でつその四

òë

武天皇御東遷 千六百年祭 けふ宮崎神宮にて

各地で各種の催

第二千六百年 紫ケ機として全関協 一千六百年 紫ケ機として全関協 では宮崎線とほう 法長

なった、

なほこの大祭

(-)

郷で他前に玉串な泰原神武末もり ボヤル郷に終び、いまや日向の山 ボヤル郷に終び、いまや日向の山 ボヤル郷に終び、いまや日向の山

九神社において來る八日窓告祭を

会九州等製壓野球大食、八、九曜 地深、七日は宮崎駅市沿平球場にて 東京、七日は宮崎駅市沿平球場にて 行じ部落成式並に全国武道大會な學 類彰施設 を施し九月下旬 から十月上旬にかけて窓大なる婆 に記念スタンアを紹行し、また 居は記念スタンアを紹行し、また 居は記念スタンアを紹行し、また 日本観神の地に無際を続げた

浙江共軍活動 五日午前六時

奉天を視察

【奉天電話】新順流河側の現状な は五日午後二時安奉線紙田春奉し たが、縣頭には滿河側奉天腿市長 たが、縣頭には滿河側奉天腿市長 たが、縣頭には滿河側奉天腿市長 一同すつかり魅せられワンダフルの後北陸へ向つたが、古陵の松に

でであることを極力回避せんさ 東によって電極突波の危機克服を を持まする安雄家を装出し、空 家を持まする安雄家を装出し、空 家を持まする安雄家を装出し、空 など、にはつて電極突波の危機克服を を表して電極突波の危機を表出し、空 を表するのではないかさ見られる 和約 位當の收穫期待 米國記者團長メ氏談 視察で

日本に新興滿洲國有力新紀の理解 即協会の招聘 一行は皆元余かさの質問にメレッ が奥へられ新じい收穫のあるこ さを期待してゐる でなりであることはないが、色々便宜

既記者と 対日 満親を

案中関係者十名安東まで出述へた 部電化 部電 が 東 に が で に か で に 止まつた程度でみな元 堂の建設は不可也。市政殿堂の城梁は可能 S117240 場等々 東、サテは撃後、魚市場、豪富市だが――水道、尾斯、電燈、電

利権目標の多

市政の擬元が飛んだ利樹擬大されたのできる。 也、伏電殿をも つてゐた。 この続は、青はど、義文さいふ

な感じさせた。

さい、さつきに思ひがけない幸職その時、義女の日から洩れた言

のガ

的確にあたる程 擦徐宛を二枕掛つてゐるのですがんかしら――バムビール舞節劇の さつきは、今日に限つて、職子

ア香マ

が観席してゐたのを思ひ出した

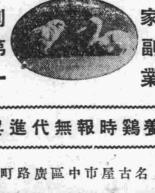
全國有名菓子館玩具店にあり

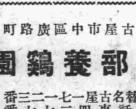


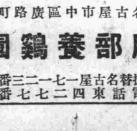
蛇角

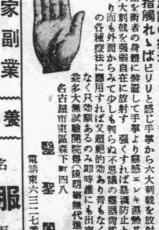
大連市球の機を築する勿れ、さ一應られれても除、機充の好機を逸する勿れ、さ一應られれても除しても、その では、 現に自分が配ってある、表面のぞ では、常識的に では、常識的に 新らしい、概愛の男性を得いてい、全の解謝に使つて、全度だし、また愛されの無君に

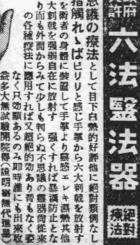
たっとかけり親さが来てした て、電車体電場まで、並んで野いて見ただけだい、あるが方、食からの味り うやちまるつたらしいわっ 腕子さんば、堀田先生にご

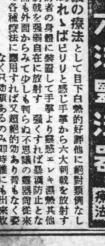


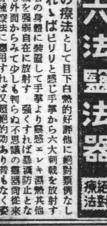






















から、住地けて米たものさ言って もよかつた。養女ささつきさが、 それは、東都大概で催されたフラ ス文文製の夏季講常館の、小人数 ンス文製の夏季講常館の、小人数

な青春

警察精神作興のため

警保局の新計畫

お難れ事務所は戦に

焼機はれた

最高の表彰

「東京四日登回道」アメリカ職業 中東京仏楽部の宮武、鑑式、鵬口 中東京仏楽部の宮武、鑑式、鵬口 中東京仏楽部の宮武、鑑式、鵬口 大事に決定したので全日本チームは 中東京仏楽部の宮武、鑑式、鵬口 大事に決定したので全日本チーム

滿鐵地方部から申請

当場させるため左の如く一部變更

新宗 (門羅) 新宗 (門羅)

風速卅米を越せば

列車の運轉を中止

重大事件の巨魁

行方不明の安島辯護士

大風害に懲りた鐵道省が

沿線百箇所に風力計設置

香地居住蘇護士安島又津山市、當時大連惠比

ある

ひました、此處では率天新四に 出てゐるこかいふ話でもたが社 の御用こかで奥地に行かれた様 です、サア、もう四十日にもな りませうか、その後半身位とて かち奥様が旦那様の後か追うて 行く様にいはれ引越の手度など をになりまるで夜逃げの様にし ったれました、その後朝鮮か も一度薬書が來たもりなんの消 息もありません

(書)開代外滿人一名は賊躍の

岩瀬ポ

プ手に

拳銃かもつて肉曜相

ME

る警察神社

と、英郷を贈め以て響経標戦の低」館の搭塊紫を繋行する事となつた。機製画の軸としてこの輸動に合利。 18の出版紫を繋行する事となつた。機製画の軸としてこの輸動に合利。 18の出版紫を繋行する事となり、近く輸動局と、関いである、その第一歩として来機製画の軸として、一般に置するといふのがその修覧の修設する事となり、近く輸動局と、関いでするといふのがその修覧の修設する事となり、近く輸動局と、関いでするといるのが表現を表現している。 の 事態はさして洗漉の無線を観測した。 を設定することになった、右風力 を設定することになった、右風力 を設定することになった、右風力 を設定することになった、右風力 である。 を設定することになった。 を設定することになった。 を関連した。 を表現した。 を 々野策を研究中だったが、近く懐護衛の背殿を続じた襲道省では職 の急行船車戦後専代で全更の如く『東京特體五日盤』瀬田川鰕橋上 ふのである 場合は列車運輸な中止しようさい しいこれがよります。 ふのである 集合は列車運輸を中止しようさい と店庭四名を脅迫し職列艦にあつ 大きれて居り、風速三十米以上の の黒線着物に角帯の邦人強盗使入 大きれて居り、風速三十米以上の の黒線着物に角帯の邦人強盗使入 秦天體話。五日午前零時半頃市一

奉天の强盗

十五個時價三百側現金二十三回を

加強を

北鐵譲渡を悲觀

ソ聯從業員自殺す

の後を追ふ

淵間後妻女トメも夫

るたさか色々寫真も見せてもら すません、東京で辯護士をこて りません、東京で辯護士をこて 実したが旦那様のこさはよく知 で奥様さは割合に親こくしてゐ は、一緒にいたゞいてゐた關係

旬発如行方なくら

により奉天署では直

追ふさ際して行方かくらま の後常さして常島駅助せずの後常さして常島野駅東京、大阪駅地の岸線をでは安島氏の行動な 電大事党の巨懸なること駅 に大変島夫妻の行方につき追求の手なのばず で、たび駅地な舞響では要島大事党の巨懸なること駅 で、たび駅地な舞響では要に事 で、たび駅地な舞響では要に事

霧中信號器

刻苦三年・漸く酬いられ

拔山氏の發明成る

る贈に士勇の空

め空の後性者が絶え の愛明に成功したこの容中の高層。 しかしては震容のた てゐたが、窓にその光源と愛能器 となったが、窓にその光源と愛能器

ついて左の如く語つて

一天気 予報・

"HOMELITE"

開店披露大賣出し メステル毛皮洋行

製造機(m)と云ひ一晩の智麗に酔れた連汽艦風域丸乗組火夫山本事

覚めてもよげて居る

ホームライト

熟燈充電 映寫無線電信用

容量 ハ〇〇フッ電圧三ボルト、一

ツト以上

連署に突出したがこの男は朝鮮生

込んで居るのを挑へて

時城同町九十

五番地黒田方の裏炊

中國青年鐵血軍 二角地帶を攪亂 任民に迎合の新

北線護波の突滞が成立した今日 自分の生地類の蘇聯へ送還され まつた生地類の蘇聯へ送還され るより寧ろ線路のさびさ消えた 方が幸福であらう

北西の風晴 本瀬(午前九時〇〇分 本瀬(午前九時〇〇分 本地温度 (五日午前十一時 一五 奉 天 一五 奉 天 一五 新義州 一元 新義州

四三三時

金百順につき百七側五銭

今日の小洋相場(十一時半)

る住民に連合する様で第三區住民一配布し過去の興販的行為を戦め家 ち三角地帯一帯を機能せんさ狂気 は熱かに彼等な思惑する秘熱にあり目下進められつ、ある三角地帯 呑ん兵衛泥棒

(下記物便郵種三第)

花嫁さん第三陣 一行七十三名來連

一殿一重 職職べたる所右犯人

で時村上氏の英螺旋で動によって救 はれた間因の人々及びその両親の 人々が如何に同氏の教怨に感謝し て居るかの関懐が継ばれる

解巡回中の金性争巡捕が置見太響

林陸治(二七)ご云ひ本年三月東 被は三道縣宇治山田市生れて若

民地たる勝南麓に向

個館における長野駅
んは五日午後五時よ

三名が來連した囊に品川中尉以下「各黥において花嶷か寡つたもので駿移既の家三順花嶷さん一行七十一青海、澱島、宮娥、山形、長野の五日大連人港の井繁丸で住木斯武」七名が瞻園し武裝移民出身地たる

朝七時十分頃一面坡華河間に於て匪賊の爲め線路を取外され五輛脫線顯覆した、怠戦に懲じ一蹴へハルビン五日發國通』四日午後七時ハルビン縣を出襲した〇〇佐藤部隊の秋山部隊を消載してボクラに向った軍用列車は本

線路を取外

した匪賊

面坡葦河間で

坂及び横道河子より教授列車が急行した詳細目下不明である

匪賊國道局を襲ひ

邦人ら三名を慘殺

昨夜安奉線蛤蟆塘附近で

ないからりーグ戦終了送代表選手推議 は撃校野球部よりリーグさの関係 チームさの試合日制は左の如くでを取消すことゝなつた、尚ほ米國 た入れ三人野二でタイガースの勝

(標画道一帯にまで非常線を張り死下現場に軽くさ共に市中に分論率下現場に軽くさ共に市中に分論率

エ 場 2121 188

188 工.

緑西クラブ

先月末機職の手に続げられた消滅 については消滅密局でも今後の黙にするではて極々研究するこころあり が変ではて極々研究するこころあり

本社西部大連皮局芸鑑四部大連排本社西部大連皮局芸鑑四部大連財

西部排球大會

四日の戦績

注意せよ

滿鐵社員へ警告

引越し荷物に

3A-2

総料理店供給

けで態骸多敷に行はれ

をまさつた螺蝣で歌の一飛人を指 機関道一帯にまで非常線を張り犯 人を捜査中午前三時戦雨塔大街帆 人を捜査中午前三時戦雨塔大街帆

か登原と離く戦火した、原因は潜火に努め同三時四十分同家二

救はれた兩氏の

肉親からも義捐

村上氏表彰金へ

無消防隊に於て執行された 防除薬さして五日午後三時より滿

米野球團ごの

ンバー一部變更

は屋上より轉落と殉職、葬儀に准ってゐた附屬地滿人消防夫林桃芳氏

擬宗統一萬國、なほ潜火に從事し賦呂場の懲死の不完全かららしく

質は出版中で

を設る 全く計議的襲撃だ、 行餘名のも 全く計議的襲撃だ、 行餘名のも かだらう、 丁度夜十一時頃バラのだらう、 丁度夜十一時頃バラのだらう。 丁度夜十一時頃バラ

本社後還大連市後所も艦の大連市本社後還大連市後所も艦の大連市

タ軍勝つ

年度大會より無真の如き を提典する。 年連續優勝し永久に獲得

來る七日午前九時より

大連運動場で

後援滿

洲連

社 所

ってゐる、タイガースよりといってゐる、タイガースに勝れて歌漫な歌 か、機然試合は自然化も補回酸になずレートに送り必勝を期らて臨

て午後一時五十分よりカーデナルの概念は残場を埋め本日こそ是がの概念は残場を埋め本日こそ是が きニービン・フィールド球場に 對カ軍二回戦 四日登回通」ワー

第八回大連市民

に呼吸に限えれ版に危い一郷郡や (本社)が義總村上久米太郎氏の義教 村上氏の有名な一語「日本人此處 裏に出た間に 永安街一本社が義總村上久米太郎氏の義教 村上氏の有名な一語「日本人此處 裏に出た間に

鄭门

イヨン・化粧用種彦と

顔料(20%)

料理至實

運動會

四季通

位話二二九二四番 長崎宇和川の領京

後田療院

抵痛"セロンン (聖路心)日本橋藥局

大連

いいこうできる

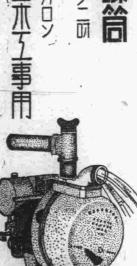
瑞西高級時計

東京整津氏より貴社の義舉

送る、宜しくお頼みす。宮崎謙二父彌作より 貴社の義舉

○圓送る、一端にお差さす職澤賊雄親族一同さる

携带用咽筒 水量毎時三九〇〇カロンリフト三十呎 一馬力・サクシヨと一団



北了事用

一手輸入工 義昌無線電氣株式會社

灌溉用·十

七寳の柱」週間

七寶の柱」週間

四郎氏の令妹で幸子さんご云ひた大阪松竹樂猷部の音樂部長松

甲込の

尾崎一草氏謹作

3

て一角圏

(

讀者優待券(松門)

七日迄·每日三回·映樂館

の柱』封切

讀者優待券(於以上)

滿洲日報社

滿洲日報社

3

(4)

N

V

(i)

(1) (S)

N

 \bigcirc

S

發聲日

本版

ジョージ・ブロンデルジ ミ ー・キャグネー

礼舞

、東まつた東の屋で、カづよくも思ばれよう。

ち時人であつたらば、十八公際は一時めくが人であるか、歌概をめぐ な女の良人であるを敬朝臣が、

・ 田一郎、髪川大二郎、山田五十鈴・北海の「穂殿の人々」は今月第三

、 第八大二郎、山田五十、第八大二郎、山田五十

無視の中から、十八公際は生れに暮して來られたのであつた。

舊マキノの都賀静子も

加茂小林重四郎

建設の人々

丁月三週全國一齊封切

歌やもしれぬ、松は十八公で響下一百二十二年にあたる、或は

嬰兒こそ、西方彌陀如來のご

な藤家に十五の年から嫁づいてゐか、彼女は、見るかげもない不遇

待つてゐた。

質所の來られたこと、

さ、お取次ぎは

映樂館。

依然超好評

西部朝日館も観賞會開催

優待割引券は共通

第一の聲(十)

て、誰やらが呼ぶっ

その前に、

ほく~~してゐて、すぐ、その方息、一継になって、主家の麼事に熟し、吉次の用傑よりは、彼自 いる健かで、貴相領高 では後弟へ、渡してくれさは、 では、何かな) 立ちよつてもらひたい―とこなか この次、遮那王に會ふ時には、 ちさ、渡して欲しい物がある故、 ちさ、渡して欲しい物がある故、 吉欠ま、ところ ・吉光御前からの書画の約束

はした印象が今もふか、。 をあるが、塞に、潜純な難人でい 一、二度、清水のあたりで、 吉光御前の、初産の美

大連附近の混織より「七質の柱」
大連附近の混織より「七質の柱」
、大・七暦月は土曜、日曜さ酷り、
、戦一の話題さされるに至つたが、 も相當多数に上るものさ見られる観賞のために來連する熱心な人々

映樂館では六、七兩日沿線 なるガイドを行ふべ

で、入場者に進呈された新興キネで、入場者に進呈された新興キネで、入場者に進呈された新興キネ

日館にも本紙刷込み割り券が通 大連會館ホール 七寶の柱の夕

七寶の柱。

村川

(10)

(可認物便都積三第)



今夜協和會館で

な示した、尚西部報一イドな

眞面目な若人の研究發表 迎へ入れた

社・第一画行品さらて現代機能す さしてゐた重宗務監督は日活に松竹蒲田にあつて花柳ものな得 『三つの眞珠』決定

十五日まで

是非御高覽御淸評の程を 本冬流行の先驅をなす 特選高級吳服の大陳列會 只今開催中

アルミニュー 御盆付菓 リャスシャッ トロング沓下(三足) 中ャラコ足袋(二足) 中・カー 帽 子 股 で 子 一・五() 大特 キトリ人紗

三十組

九八六三三五六三四九一六五五五五三三六六五〇六價〇八〇五〇八五五〇五六〇〇〇〇〇三〇〇五引〇〇

又々新着品大追加致しました 謝恩大特賣場に溢れる大人氣 御買德品、 この盛況!この好評! 掘出し物を山積し

幾久屋へ!

無双 場方方方 御

(

頭

竟

V,

图

一九一四年より一七年に至る約三年、即ち近代世界史の一頁である露西亞國民の心の動き。
は間性の心裡、戦線を超えた敵國民間士の純情の戀。藝術映畵にも大作製する。其中に描かれたる父さ子、兄さ弟等のに関する。

作監脚

(K)

(A)
(T)
(S)

(U

(K)

W

(A) (D) (D)

(1)

 (\mathbf{x})

全

發

聲

コンスタンチン・フイン

 $\bigcirc |\mathcal{Z}|$

日

ょ

9

料

金

階

T

五

0

錢

階

Ŀ

七

0

 \bigcirc

池田小兒科門醫院 <u>(K)</u>

演主子綾田代千·郎三田本松

周年記念

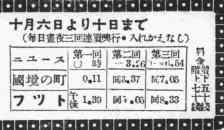
金

枝月村河·鄭文田島·子妙間久佐



封日 灯

(毎日畫夜三回連臺嶼行・入れかえなじ) 第二回 第三回 第三回 3.16 1-36.54 第一回 プトン御紅茶を一品御料理にリ 弊店食堂部では









関ず全

治

す

林 病

天國其日歸 奇 帝國館

忍術一夜大名 天國其日歸

御持参のお方に限り・小供十銭・大連日滿員御禮の爲め左の優待券 6.小供十錢.大人廿錢

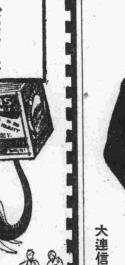
金 新

鎖 小兒科 電話8401笛

公開

を がも水中で、まばゆき彩光を浴びつゝ踊る数中の美女。 を がも水中で、まばゆき彩光を浴びつゝ踊る数中の美女。 を ある。 大の光華である。 エン・ボゴリュボフ パ・テスチヤコフ 海 パンス・クレリング イエ・ク ジミーナ 共 コ ス・コ マ ロ フ 演共 上映時間 置裝聲發ンータスエウー界世 第一回 第二回 第三回 し無替入。行與續連回三夜晝 〇時 0.11 3,37 7.05 5.05 8,33

大連イワキ町







小间物類切 3 灵 大連浪迹町

営城町

場成町

地町

三四三五 流行新柄第二回 屋

無解説

複方 华。

崎 電話四六四八 商

奥地の御註文は金州より發送致ます

カワシ

(K)

(可認物便或種三第)

関東州に於ては近代的漁獲方法行

新子二百萬圓程度さなるが之な試 一千百四十六人、附臘地三十六萬二 のみの人口即ち臘東州九十六萬二 のみの人口即ち臘東州九十六萬二 一千百四十六人、附臘地三十六萬二

概三百六十九萬七千四十八圓の輸 でこれを棚び昭和七年度に於て總 が大震な、一日十八圓の輸

東に日滿で縣上より水産物を見る 関郷一萬二千六百五十六里、昭和 一萬二千六百五十六里、昭和 一百五十九萬八十九世、製造総二世五 一十九三八十九世、製造総二世五 一十九三八十九世、製造総二世五

の隆盛を語り得べく以て国家經濟である、故に新消費市場階積し利用更生の途を開くことは目下の急

満洲に於ける水産物

需給狀況と貿易

漁獲高は貧弱、輸入は有望

本における昭和二年度の一人驚り 本における昭和二年度の一人驚り であるされるの半線に達せず崩潰ない に地較 に なるさきはその半線に達せず崩潰な

日本株産物は三百九萬五十六個のなる地位を占めてゐることを見逃れる地位を占めてゐることを見逃れてはならない

人當り僅かに四十錢に過ぎ

さは優に一億関に上り外國輸出員

八百五十九萬八千百十七國にし

きは優に一億関に上

第二

期に入る 對印綿布輸出

H

蘭印譲歩せねば

會商は決裂せん

本 明綿布一部積止め解除については富楽者さらて承服出來ないては富楽者さらて承服出來ないては富楽者であった。會商が開かれ、委員會が設置された以上この原一部の未明綿布積止めなさず會商開催の根本精神に立脚と全をの問題さらて本會所で、政治など、会商が配った。 をつり頼ひたいで具申した、政治など、会商が関いたので、会員會が設置された以上、会商が設置された以上、会商が対象に基く局部の未明綿布積止め、所といい、会談が表した。

月 年

徳山の海軍燃料線における 花院後 一大乗丸にて時速とたが語る 大乗丸にて時速とたが語る 中西理事達は試験の終了をまつ で東京を廻り時速するが、私は 大乗丸にて時速とたが語る で東京を廻り時速するが、私は

未晒綿布積込め

優劣はつけられぬ 部博士歸 失なしさ 麻眞田輸 11 任

徳山の液化

「東京五日登岡通」米両では日本 の離眞田の個人課職た課載してる が勝三等では四日倉通客に對米 に実施を記してる が勝三等では四日倉通客に對米 阻止運動

る輸出綿布の

た事で

滿洲國關稅改正 -で日本側も準備に着手 川島公使を満洲に派遣

に たが、 最近川島公使な特派するに 次 に 同公使は 敵々九日東京歌のこれ 日氏も単低前端州國の戦慄劇祭に 十三日海端、 奉天で陳氏藩令ひ滿 一十三日海端、 奉天で陳氏藩令ひ滿

満洲海運關係の

子側

損害だけで千二百萬圓 來やう 回復する 大阪荷役能力

『大阪特電四日襲』 禁満輸出に密 に立ては流失或は浸水のため大損害 には定して満洲行き)の五分の には定して満洲行き)の五分の には流失或は浸水のため大損害

め一掃したよった

「東京四日登國通」日郵金融は職 物省を通じ被年度明年二月末迄の 眺、この撮響・離り五百国とみて 部総布の構止めの他進んで全部の てゐるが荷稿出と戯型二千萬ヤー 一千萬國た加葉とた千二百萬國を以部総布の構止めの他進んで全部の てゐるが荷稿出と戯型二千萬ヤー 一千萬國た加葉とた千二百萬國を以部総本の構止める離込放食融決勢 ドル大脚に繰入れて全體に於て撮 て直接貨物の振失さみることが出 の危機に就と今後離職が護歩せれ に電磁を緩和用この診論が有力化。 貿易確保

たるなが、同窓のとは、一般のでは、

要ながにも指されないにも指されないにも指されないにも指されない。

◆定期晚合高(四 日) ◆定期晚合高(阿 入) 前日對比較公印減 前日對比較公印減 一〇二八車 ○三軍 豆粕 六四七千枚 △四千枚 豆粕 三六〇百箱○二五百箱 豆粕生產高(五日) 豆粕生產高(五日) 一五、〇〇〇枚

田來高 三百車 野連大豆 出來不申 豆 粕 二八〇 二二八〇 田來高 一萬枚 豆 油 八五〇〇 八五〇〇 田來高 一千五百箱 高 梁 出來不申 高 梁 出來不申 高 梁 出來不申

特別金(現物 114°40 11年) 艺 115,10 CONL.1 空森 大 |お花| 引 ーデサマスク酒銘 一御照會下さい 一件お買上毎に煎薬黄金単庁入1袋売進量を 一件お買上毎に煎薬黄金単庁入1袋売進量を 一件お買上毎に煎薬黄金単庁入1袋売進量を である。 用下さい 醫多博士

本る七日より十五日迄 く御利 \equiv 河 每七七四三話體 (前品五) 町島敷

がは 是非一度

比較し二千百二十七萬九千平方ヤ 組合を結成し旦職合會設立方針をる事を示すために権護練月に輸出 る木邦輸出総布は全部一億六千九【東京五日發國通】九月中におけ 輸出綿布 八十九萬五千圓にして前月に を飛すために横海峡戸に輸出が取り用急あら即野城に輸出統職の用急あら即野城に輸出統職の用急あ 八萬一千平方ヤー 九月 は減退

吾妻驛の受託方法變り

通關日敷が短縮す

一般二日間を総職と得る割であるのが荷被り希腊きの破壊によっのが荷被り希腊きの破壊によっ手観は従来約六日間半を要した

第二回 〒明天分三 第二回 〒明天分三 第二回 〒明天分三

| 大阪期米 | 大阪期米 | 大阪期米

根職に提出者みのものに除りて構、 に於ける手續きに概じ内規を改め できてを重きに概じ内規を改め を対る手續きに概じ内規を改め を対しる手續きに概じ内規を改め を要に受託前の手続きが汚んだも を要託し輸入的告明細書等の提出 によりて通覧手織きをなし以て帯 によりて通覧手織きをなし以て帯 によりて通覧手織きをなし以て帯

白雲山麓に公設市場

既の食料配供給には極めて不便で し人家需集し從つて人口も敷地し 行くにも捕らすこの方廊には未だ 一の公設市場もなく附近一帯の住 一の公設市場もなく附近一帯の住 な 大信空館たる可き的窓山籔一部地 い絮線を像脚された (「京城特電五日盤」朝蝦運送の本 経りまれてある 「京城特電五日盤」朝蝦運送の本 経りませたした。 「電り南鮮」選送業績好 輔し大きに外でである。 「「電り南鮮地大きなど、大信空館たる可き的窓山籔一部地 い絮線を像脚されている。 れ、移動貨物激物により素晴らし 年度上期は富砂財界の辞物に患される 聖徳街方面の發展で

株主門盤に年五分掘 が、 大て前期より幾分の地 大で前期より幾分の地 大で前期より幾分の地 大で前期より

0

突然地を含べた。

*** 一大きれてぬたが、脚央

全滿電業公司 來月下旬創立

法人國籍は特例を開かん

局長談

大通商機關を新設

歸任の藤井

またり、できるとは、これの風のあった日本技術界の見志なこのあった日本技術界の見志なこのあったの事だが、恐らくは日本の正常がある。 であれば、これな遊伝者のようとは、これな遊伝者のからし渡しても、これな遊伝者のからし渡しても、これな遊伝者のからし渡しても、これな遊伝者のからし渡しても、これな遊伝者のからした。

况

…多いやうで少いものは人で

を要なによっるする。 全型分の一安、上海市場は日本向百二一四、五風壁に保合標金二二一四、五風壁に保合標金二三元安全常市は材料區々に氣空から一氣に七、八圓方も上伸をみせた後で目先一服でいふさころであるが為替の先安を見越に押日買さいふさころである▲一般にして形勢を観望しやうさすかして形勢を観望しやうさすかして形勢を観望しやうさすがして形勢を観望しやうさすがして形勢を観望していると、

一品 前 前 明中奇 當 限 集位大

一部では、100mmのでは、100mm 相

動幣對(現物 11年20 國幣對(現物 11年20 奉宗票(現物 天票)(現物 艺 110~110

八院隨時 加藤 整形外科 科 病 院 大連市三何則四

受託 ○神宗

臨時電氣法規

上は満龍に對てる評價でのと思ふが評價總</table-row>版五分

市場電報

大智比

ラステム

大阪綿糸 月前場資前場引 月月10名0 10名0 月月10名0 10名0 月月10名0 10名0 月月10名0 10名0 月月10名0 10名0

商議聯合會 六日から開 五日準備會を開く 奉天省の 農村振興

に全力を傾注 水田、棉花栽培

大豆(裸物) 一一 大 引 帝 付 大 引

内地變らず

北渡定期の前場寄に大株十銭安、計議定期の前場寄に大木工・銭安、計ら保合、東京短期の新東は寄二十銭安、計・14銭安、計議会、日産二十銭安、日産二十銭安を入れ當市も氣配要らず五品、土木同事、新東二十銭安、日産二十銭安にて大引 0 -海標金

緊 服 尖 西公園町春日小学校前 血 胁 膜 及

電話六五六五番 监谷創榮 婦人性語 入院隨時 X線完備 科病

爲替相場

医学博士

電話 6297番

加藤清 郎

山法は成功 しかし満鐵法と

(四)

手續完了後受託

新線音楽職では最近貨物の製送館かれているとく構り ・ 工幅)最高一千三百嶋(百二十 ・ 工幅)最高一千三百嶋(百二十 ・ 本地加を来し一日平域一千嶋(百二十 ・ 本地のを示してゐるため、昨今 送店ではよく連絡をさつて歌めなった譯であるから各情主並に運

を感じ從って作業も

■ 新京電話 第十八回流洲郡工會 の各理事委集の上職合館集修館
● 「本京電話」第十八回流洲郡工會」の各理事委集の上職合館集修館

海外市況は論敦銀塊現物先物共八 大工組安、維育銀塊八分一安、独育銀塊十六分五安、米東クロス八分一安、独育銀塊八分一安、孟賢 一安、米自為替二仙安、米東クロス八分 一安、米自為替二仙安、米東クロス八分 一安、米自為替二仙安、米東角 一五、大洋九七國一五、上 海日本向百二十四國金から五國金 村後安と軟調を辿った

鈔票弱保合

麻袋弱含み

◆定期前場(單位錢) 等付高值 安值 大引 新近 11年20 11年10 11年2 組火高 四百四十九萬個 ○現物前場(單位錢) ●現物 前場(單位錢) ●現今金 銀對洋 金對洋 九 時 11年20 11年20 11年20 十 時 11年20 11年20 10年10 11年20 11年20 10年10 11年20 11年20 10年10 11年3 10年10

国 同 三八〇 一〇 田来高 八萬枚 出来高 八萬枚 出来高 八萬枚 出来高 八萬枚 出来高 八萬枚 は後来やりて保合に引け常市 たるし後来やりて保合に引け常市 にるし後来やりて保合に引け常市 標金は小幅浮動一般に銀對策縣 日原一巡せる為、為替强会みに 日原一巡せる為、為替强会みに 上海 石製 一倫敦銀安なる し

京花内 萨加小 料料 海嗎呀 医啡片 大連市和伊州三三軍事記 大連市和伊州三三軍事記

連市越後町(若狹町角)電六七五〇

治療開始

梶田 小兒科醫院

届て一割チップなこと

、サービスが行属て一割チップなこと、位置は第一等物便利な所にあること、室料の低廉なこと ナニワホテル の特色

素長五四七二・八五三四 大連市 愛宅町・1

中度麻袋 等筋直積 三留比公分二 等筋直積 三留比公分二

支店

公松 電長三六六番 四平街南三條通九番 (長長五四九番) 大大大大 (東京五四九番) 大大大 (東京五四九番)

(值 15元) (值 15元) (值 15元) (11元) (值 111元) (11元) (11元)

大阪棉花

交 空 立 引

式相場研究 **懸賞**募

今射越屋商店

米國記者團

滿第

口を極めて日本を賞揚する

大統領さらに

ハ兩氏ご重要協議

州低

日滿技術の

協調を

主張

☆…技術者はごこでも自信

しめた條件であった。

憲兵司令官を

警務部長に

陸相、首相に希望督勵

てべして主張するものさへはなく撤退に際してテロを、その動揺は一般住民の程

故斯波忠三郎男

地番ー十三町圏公東市連大 社 報 日 洲 端 前式 所行要 O六連大椿振・號五三一胸書科

本部擴充を計畫 目由建艦期の到來を豫想

し元本が技術家だ

經濟プロックは成立しませ

さいつた故男の言葉

改革案は萬難な排し臨時議會

「技術の協調が出来れば日滿

☆…大分元瀬になったさい ◇…大分元瀬になったは、 滿水社社

合でも数質

は相俟つてごんな場

本順の技術者とか飛りし限ちてれば満洲側の技術者と、日

からし唯の一度も

だつたのを旨く

歩調を合せさ

東京五日後國通」林陸樹は五日 東京五日後國通」林陸樹は本日 東京五日後國道、岡田首樹は内 在満機關改革案の官制化は豫定 通り進移し近く案全體の法制化 通り進移し近く案全體の法制化 が終了するがこれに對し陸軍の 希望田可

技師等人件費三十萬圓を十年度豫算に計上し大廠衛で突逐中である「一大戦争との影響が変換している。」とは、造機等各兵科質が、外、佐世界の各工廠及び無線工作部等の水陸整備に伴ふ定員増加を計畫し造船、造兵、造機等各兵科策倫機がの影響性なられず豫備會商が期待し得べき收穫なき場合に備へる必要ありさし態咳水部並に機能のの影響性が変ができれず豫備會商が期待し得べき收穫なき場合に備へる必要ありさし態咳水部並に機能のの影響性が変が変が変がある。 の立場を固

十年度豫算に

情

期を早めた原因こなつた。

して疎かにする

である。 差支へなきこと 在演事務總長は文官を以て充

監通り整務部長の兼任さする。

で来たので目下それよく経衡中で 大日教画語 3 葉に満洲||政府から 朝鮮總督府に對き近く増設を作める は高者官吏を至急推薦方な後頼しる は高者官吏を至急推薦方な後頼しる は、一次ので目下それよく経衡中で

つた、側端

◆…加賀百萬石の家老だつ

療場なごろがあり、温 いふ名家の後だけに如何

補化の仕事は

助かつたのだが、それからも

た順か持ち

な思ひ出す。

事業計畫で

先月は斯波男の斡旋で

なを整次、わが要求を誤解する方針である 質性な言語を成め大國民の禁度を 対するが、公式にも非公式にも無 では言語を成め大國民の禁度を はてきた。

『東京五日**登**四通』閣議決定事項 『東京五日**登四通』閣議決定事項**

閣議決定事項

雑食定會議出席のた

於星浦競馬場

務局勤務者参集の上報告會が行は 関等によって旅順署及び関東職警 はかて接近、大家川委員長菅野委 に於て泰川委員長菅野委 では五日午後一時から警察

大槻水道課長 大連民

分政府さ連絡を保つやう留意を ため、斯名養表をする場合は充 ため、斯名養表をする場合は充

健な資料に陳述した いでは、 の諸島に関し陸軍の希望並に督

代表會議狀況報告

の正面衝突不可避

問

9

ば

ト問題

要するなら政治問題の上 を関方館でも日本が華府 は終始一貫してゐるので、來年の 本年の海軍本會議の議題を であり、且つ今回の歌倫突邀並に か五年の海軍本會議の議題を であり、且つ今回の歌倫突邀並に が出したもの であり、且つ今回の歌倫突邀並に が出したもの を表記した。 の体化を以つて参加したもの のな場。 政治問題を上程か 帝國政府は斷然反對 會議に

クへ赴き十日渡英するとされ 米の議題範圍

英外交界に衝動

等するなら政治問

げる決意である。

又會議の途中斯る問題が上程さては日本は之に既然参加せず、 ふが如き態度な英米が執るにお

の材料が無いが、財下解へられる もの、内容に關しても明確な裁解 のが特が無いが、財下解へられる 大の関心を 齋藤駐米大使

本方針な最後の一様さして代表部でさしては九月七日郷談池定の概率さしては九月七日郷談池定の概 代表部を督勵 一日本が華原修約蟹繁通管なドン外突界では報ぜられる如 を特に、通行を持続に、

の各省で行ふべく軍自ら電行する く各級の融資事情に関いてる所以 に過ぎす、之が研究や電行は東門 に過ぎす、之が研究や電行は東門 が東に知らしめるため製行した

政府

東京五日登 ・一郎の如く ・一郎の如く 留意 を希望 | 五日の閣議で

特殊の事情で類る行動に就バンフレット問題に就がいて中突然パイト突然が 民協定に拍車

が林陸相はこれを認さした

日(土) 日(日) 日(月) た七八

議會で林陸相から

▲龜岡精二氏〈鐵路總局經理處長

の目標は、立憲政治さ

隊長)同上 三浦三郎氏(憲呉中佐奉天憲

三省堂編輯所編

普及定價提供

圖書目錄進

*

SANSEIDOS **GEM**DICTIONARY EDITSED

加速度的に機運搬成の製造の

この連絡

妥協說はデマ

關東軍與らず ▲張燕卿氏(満洲國貴業部大臣) 後九時資列車にて新 泉ヶヶ任 (議線理事)五日午 五日午後七時三十分着はさにて青木重臣氏(闘東崛警務課長)

本之助氏(關東歐土木縣長

改訂版定價

圆四

上(新星大使館附缀

▲楢崎親一氏(大毎満洲總局長)

記)同 - 新京へ 一氏(高纖經濟調查會集

S ST T

DOS GEM DICTIONARY

DOS GEM DIC

北鐵交涉·本軌 大使廣田外相ご懇談 道

さもならず平易に解決するさ見るものでかくすれば議會の問題るものでかくすれば議會の問題 のではないかと観られる 後も急勢直下調印の運びに至るも 北鐵讓渡ご

熟試したがユレニエフ大

有に農田外相を訪問し数関通」五日午後五時

に對する崙洲画側の意小した、聯側の北鐵讓

各方面の反響

三省堂編輯所編

致の脳及び

洲國側の陣容

専門委員着京で完備

は近く関連解決を見るものさ確信は近く関連解決を見るものさ確信は近く関連解決を見るものさ確信はでの関節が現れつ、おるもの激増し、家財の数理も含める相當多数によりである模様であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該地域であるが、他方該域では、一般に対している。

別のでは、 られる家さは多少壁。更な最終であるから今日常地では ではる。

ク氏東京へ

の、満洲園館の聴祭は、 5、満洲園館の聴祭は、 5、大ちんさする折樹、 5、大ちんだ一様だける 1、大ちんだ一様だける 1、大ちんで 1、大ちんだ一様だける 1、大ちんだ一様で 1 、大ちんだ一様で 1 、大ちんだ一様で 1 、大ちんだ一様で 1 、大ちんだ一様で 1 、大ちんで 1 、ちんで 1 、ちんで 1 、大ちんで 1 、ちんで 1

数はれるかごうかた考へて見るべ 数策揺鳴一転乗りの政憲政治家に を関軍のパンフレットは、從來保護 はれるかごうかた考へて見るべ 度ご面白いコントラスト 演奏 動内外、収穫五千萬石以内と連想 をなく今年の米(後は、近年給者の になて漫想と唯だ米(優安) 度さ面にあるころ ろが、米国政府の野軍権

あもので見られる な業権護で、在諸機関の革衆が上 に論陣を張つて情霊衆教に肉漢す に論陣を張つて情霊衆教に肉漢す たさの報が像へられてゐるが、右に聞して関東軍舎局を訪へは、 きうした風評は耳にしたが全くのデマだ、第一かゝる問題は中央に於て決定さるべき事柄であって出先き機關たる関東軍の奥り知らわ所である 歸任を延期す中村財務局長

数理の問題でも 海軍々縮は明確な

はい、が、政治問題を握いて後期するもの ・ みが無疑が化を恐怖する▲米國 ・ かが無疑が化を恐怖する▲米國 ・ が、政治問題を握いて後期するもの ・ ない。が、政治問題を超いて後期するもの は不満だ の非違な強行せり きだ▲現行修約に は節じて排験すべ

政治問題の

訂增 英簡學督に資する所を最大ならしめた。破 格の 普及特 價提供!!ほど左標に譯語は感切・正確であり。例文に富み。熟語・諺語の『「中學――學驗――高・專を結ぶ英和」――これがセンチユリー! 三省堂編輯所編

四二円五十銭・送料六銭 ぜひ一般!! 五五五一三京東春振・一町保藤區田神市京東 〇〇三一八阪大春振・通下座坡岡區西市阪大

改訂版 定價一 完地三寸之 ジェ ジェム和英辭典

かも右の三拍子揃った聯典は超無と云つてかも右の三拍子揃った野典の出現の出現がある。

如何なる場所にも携帶自在 本辭典の特色は…… 定價 二圓八十錢(蹬)

三方金・セルロイドカバー付続電数千百六十頁・獨得優良紙使用の基本数・金文字人・活字鮮明を表示を引きませます。 スマート」の一語につきる 言

三省堂編輯所編

訂改コン 新工 四 ノサイス英和新辞典 郎編 ノサイ イス和英 定價 二円五十銭・送料 六銭

ユース主範ノーウエル・メレット 日報な機能し記者が荷橋子縣までした米岡新順語者域ワシントンニ 途中英文の戦迷師を擦練した清洲 | ■人の第一歩を来天に取したが、

團長メ

十分変列車で慌れの崩滞

かち、この場合、各國さもワシンかち、この場合、各國が東郷を受けないるにはロンドン條約による は、その監はロンドン條約による は、その監はロンドン條約による は、一次の場合、各國さもワシン

基調さする嫉殺の成立を見るに至れため、一般に日本の海戦力を削減

米國の野日梅軍政策の手に

勢ひもあつて、失殺奥奪必し

祭する所なくば、

華府條約と

日、英、米三國の海軍カ

軍縮ご三五・六年の危機

るやうに信じて居る。

勿論そ

とたやうに、今の満洲頭地方官である。 且天れ青人が屢次指摘である。 且天れ青人が屢次指摘 開始さるゝや再び甲地に復贈すれて乙地に潜入し、乙地の討伐けて乙地に潜入し、乙地の討伐けて乙地に潜入し、乙地の討伐

の後の詳報によれば睡賊當初ので後の詳報によれば睡賊當初の大もそ は、それが敷名の教育者さ百数二一日朝の高麗門小學校襲撃事件 の匪賊沙汰を聞かなかった。

ハを米に

一氏は五日午前六時十分京城より平安、安東電話 国民同盟總務山道議会を前にして滿洲 り夫々滿洲事情な離取の上、直にり夫々滿洲事情な離取の上、直に

大連都市計畫

委員會を招集

來る十二、三日ごろに

斡旋機物

關設立の

花さ花環店

新銳學究執筆

詳細內容見本進呈

旋

三二〇六〇番

施 花品章花環

大連民政署以

三百

水産

大會の決議

は大いに期待されてゐるが極古林の今後の嬖英

同秋田商會木材會社

特別委員會電氣法規の

工作が必要になった時代だ。特能が、併し段々境界な撤した綜合 所を知らない。晋人は其臨に常

憲の討匪工作を概觀すれば、共

唯一方策である。而して匪賊の

電話番 1110

近日代見鑑電話分局完成で共に 近邊一部に對し電話番號な改正

◆就ては従来沙河口分局に属する ・一部番號中、頭に家な附してあ ・一部番號中、頭に家な附してあ ・一部番號中、頭に家な附してあ ・一部番號中、頭に家な附してあ 出来ざること 出来ざること

文とた場合、空番なる故、態 ◆残論一より九までの数字を附し、それ故内地へ印刷物等を注 附する番號に改正して欲しい

の如きは嫌に順に等を附すると 本要望し居る着多き質に附しあるため誤 接多きこと 主いみ不利あること では全然誤り受けを欲しない さいか不利あること では全然誤り受けを欲しない さいか不利あること では全然誤り受けを欲しない さいか不利あること でいるでいで、でないて書 がら、この際一部吹正の方針と から、この際一部吹正の方針と から、この際一部吹正の方針と から、この際一部吹正の方針と から、この際一部吹正の方針と

さいさ思ふ (聖徳) 後来の四ツ番が五

寄附者芳名 村上氏表彰金

市況後場五

H

人民の不滿の一つで

たった。 なこさがある、それ では、これがや人 では、これがや人 では、これがや人 五七月八月五七月八月五十月五十月五十月五十月日

六十二 風七十二段四

近畿風水害 新京鐵路局工務處

東日産低落

二十Ⅲ 大連市古河電氣工業株

五日夕迄の分)

0 十月 110元 110元 0 十月 110元 110元 一月 110元 110元 110元 110元 ★ (単位十錢)
 一月 架型 架110
 一月 架型 架110
 二月 聚型 界110
 二月 聚型 界110 トンテ西中 資增社會式株織 新

查言言言

株・顔記慮先株式へ年八朱優先剛常付ごの内特に東拓及諸蔵に請び

殊に最近高騰門小學校に襲來し 方針のみに安心すべきでない。 既に至つては、餘り單純無躁な

的は高麗門警祭署襲撃にあつ

ざまし

機構問題は對內外的に惡影響 難る山道裏一氏語る

を関する。 を関する。 を重要な質問事項だ、たど内容 はあまり問題でないやうに聞い であるが早く歸つてこれも調べ たいこ思つてゐる

一、 江西及び湖南南部を連じ省境 ・ 江西及び湖南南部を連じ省境 ・ 江西及び湖南南部を連じ省境 ・ 江西及び湖南南部を開始し浙 ・ 西建省内に於いては各地の共

藏相辭任說

義捐金芳名

(十月四日正午迄の分)

三三る一大赤色縦斷線 5湖南南部を通じ省境

津島次官否

五全體會議

る間に着々軍備を充實し態度極し中央軍が劉脈に手を焼いてゐし、中央の存意を祭知せる西南側

延期
説擡頭す

「東京五日養岡通」除井殿根に五 日朝河田輸長に数し五日の閣議に さであつた為め網牒する旨像へた さであった為め網牒する旨像へた さであった為め網牒する旨像へた さであった為め網牒する旨像へた

産會社大連支店、阿部国兵衛外さ 一同 田土十 国 同 昌光硝子會社 選 日 五十 国 同 昌光硝子會社

般無味

大阪市東區高麗橋三丁目東京市麹町區内山下町東 洋 ビル 内名古屋市西區島田町 東京市麹町區内山下町

滿洲取引所仲買人組合員

四人 久記證券部 宇治町三番地季取東側四九二 東京無線株式部 青葉町十一番地電四四四九二 東京無線株式部

湖 銀 號 加茂町五番地 電三九三七湖 銀 號 加茂町五番地 電三九三七十

し少しもない を対すれてある。 の如きは単なる。 が解すれてある。 のがでは五日左の がでは五日左の

三百圓大連市

関して、彼等は屢々有益な役來る社會的悲惨事の矯正など は無軍通過ではなったが今度の業算は無軍通過であたらうが機構では無軍通過であたらうが機構では無軍通過であたらうが機構では無軍通過であたらうが機構では無軍通過である。それが意外な方面に登した。

遊覽地吉林。の

る通路も江岸を除いた市内斡線もに結び帰前より吉林大學前に通す

大きなかった、即ち英、米五、日三 ちなかった、即ち英、米五、日三 をなかった、即ち英、米五、日三 次のやうな主 等の海軍力、即ち世界最大の海軍では、米國は戦は平して英國と野 【フイニツクス四日發図通】四日 排日歇まず

順のため同連河の戦略に関値に永久を明めため同連河の戦略に関値に永久をあが、最大戦数の課と 野から白頭に四萬船以上の居るバナマ運河も、大艦の居るバナマ運河も、大艦の居るバナマ運河も、大艦の 出来なくなり、鑑つて揺魚のパナ出来るさ、これを通過することが 順以上の艦 製 大艦の 型造 減 が

五十十三個 五十十四 周五十段 五十十回 周大連市 国五十錢 同松山 町區 大連市大連水上商組合

同願東州橋舎大連支店員一同 同大連行商人組合 同大連行商人組合 同大連市佐藤 有二 大連市佐藤 有二

四金千局大

出來高 七萬枚出來高 七萬枚 軟

Joy of the Tasto

4

さ

大連伊勢町

砂 票 續 落

十三圓二十錢 同大連第一中學 十三圓二十錢 同大連第一中學

丹門(八烷唯志)

東京市神川區神保町二丁月五 場 作家希望の士の刻下の急移に一異彩として名聲を博士に一異彩として名聲を博士

振鶴東京七二〇八二番 内容充實せる本講義鉄の必讀こそ技権の必適とでは一の獨學向上の指針!旣に技術界 I ٨

火災·滅上·運送·自動車

大・中・小 9

荷 尾尾 1 A

口本各地名産 少上不拘御重話次第係員奏上御相談申上ます 三井物産株式會社大連技術

食料品

世界各國

酒類

一、八〇

日

関合を設置目下着々ご準備を進 対の、あり明年三月までには竣 大きれる等で、これが完成の聴 は粉炭の品質向上統一による単 便の値上りで一ケ年約八十萬圏 の収入増加を見るさ共に従来幾 のの古城子粉炭に對する炭質苦 情がこ、に一切解消されるこさ になつた

日

制限撤廢決定

見せ金制度も廢止

浮かば、

C亡者

宙に迷る

兄の遺骨

六年間探しあぐねた純情の弟も

遂に
ま

き込まれた行方不明劇

の朝鮮内

或

萬國の境収さなるのである。萬國の境収さなるのである。

州かされこの値上による。配位さなりその値開きもいけられ従つて所謂特粉

出し特に新義州に於てし質嫌ある 制限を行ふため種々な條件を持ち 郷窓の目的で支那人祭嶋者の入國『安東』朝鮮總督用か國内祭鯛力

の 中であつたが、元來滿洲人さ中國 其の入総の自由を認める事さなつる さして中國人の大郎は完立なく起 トもので其の他國際で實施の課題で有事の課題も附せず以中國人に リー方交通の個別にも貢献する事 ましても要更響が響、慰兵隊、緊 さなつた、滿咤は歩一歩融合へ場 まればならの自由を認める事さなった。こしての實證を得れば滿人さして みついある

治安の確立と日南三島の蛇鞍にか ~二日午後一時中より先づ総州、に避戦の通り途西、熱河における を得職々準備中であつたが、いよ在奉天の内地各府縣駐在賦協館で すべく本社ならびに協価会の後送のに日南三島の促進を目的とする 地において第一回の見本市を開催した。 しょう はいる (編州) 内地酸鼠の総介冑隊より しがみ総州、縣縣、除線その他各 これは滿人に 一邦人の訴へ

邦品遼西に紹介

錦州で見本市開く

~二日午後一時半より先づ錦州 つてゐるので、 か得種々準備中であつたが、いよ 書を見るさ鑑さ 有の土地た賞入れ家か建てんさし (仮名) は本年七月篠栗所 (仮名) は本年七月篠栗所 て驚らしめ趙某の持つて來た契約たが言葉の不通より一滿人に託し

領警に送られ勝夫 預けてあるさいふれてころ遺骨は耐にさころ遺骨は耐 ででである。 ので、蔚山署では一の電行方法につき打合せの結果左 大マイト自殺 ●十五日午

▲二十日 活動寫真、午後七時から将日桜でオーケストラ、琵琶 「一十一日 解散式、午前十時神 社で一同人場、開倉、修献、國 社で一同人場、開倉、修献、國 後拶、大日本帝國、満總會社、 演郷社負會落該

旅順選手推戴

別事情あるものは二個)であれ、因みに會質は毎月三國(特の役員選舉を行ふこさになった。因みに會質は毎月三國(特別の役員選舉を行ぶことになった。

妖麗なる女匪首~ 場の露ご消ゆ ---王鳳岐に死刑執行~~

れ、去る八月十五日極谷諸俊陳の 中原な鴫峰に、無切るが如き紅樹の のた師音王原族にも凋蒙の様が訪。 ・ は、大きの八月十五日極谷諸俊陳の ・ は、大きの八月十五日極谷諸俊陳の ・ は、大きの八月十五日を谷諸俊郎の ・ は、大きの八月十五日を名は、大きの八月十五日を ・ は、大きの八月十五日を ・ は、大きの八月 の りょなつて以来、龍崎駅駅標底 の一笔で駅電販戦中のさころその 変け去る二十七日午後三時北安鏡 変け去る二十七日午後三時北安鏡 ではまる二十七日午後三時北安鏡 が変がだけに死の電告を かさころその が変がだけに死の電告を かさころその

の見本市を開催した、折よく常日蝦内脳和電影事處において皮切り 拉致された

(可認物便郵種三第)

品質

無順炭礦當局で研究

0

各方面

苦情も解消

滿人を相手に 高利を貪る 邦人惡高利貸露かる

【泰天】日滿親養の強調されて居った を食つて居る事性――奉天春日町 引 を食つて居る事性――奉天春日町 引 を食つて居る事性――奉天春日町 引 日間渡した要求するし間から方在にして、 に調べて後間整位率指導館は形式的 とは何等不能の監なし取調べる必要、 れは何等不能の監なし取調べる必要、 な性薬指導館の處置に憤慨でる必要、 は性薬指導館の處置に憤慨でる必要、 は性薬指導館の處置に憤慨でる必要、 は性薬指導館の。 とは性薬指導館の。 とは性薬指導館は、 といる。 と、 ると四日観響に陳懐して来た 自分で艶てた家に住めないでは歴 契約はあつても八百圓の金を出し れば假契約であるご稱し作用を敷 契約は

茂(三)假名は蘭寶の方が思はし かに一時の蘇感を変ぐもの多く宮高利と知りながらこれを利用し僅 が最近滿人の生活困難の際さ 見込んで元金より多い金額

【奉天】東天西塔大郎居住諸尚勝 大の長兄金太郎は昭和四年談の失 たなと弟の勝夫は兄を患ふ一念 から大連響を通じ行方捜査中、本 年二月本籍地の東京本所属より戸 籍謄本を取寄せたさころ、意外に を変大郎は昭和四年談の失

死亡居 对出口行籍

本溪湖戰鬪卅周年

三日盛大な記念式

至市民参加して擧行

 本十五日 午後四時から率天神社
 は、社員會減場場、官屬資政
 大日本帝國、滿城會社、滿城社
 大日本帝國、滿城會社、滿城社
 大日本帝國、滿城會社、滿城社
 大日本帝國、滿城會社、滿城社
 大日本帝國、滿城會社、滿城社
 大日本帝國、滿城會社、滿城社
 其會滿歲,解散
 其會滿歲,解散
 其會滿歲,解散
 其會滿歲,解散 ▲十七日(克己デー)徒歩、禁酒 ※煙動行、之で得た金は公共事 ※に寄附すること ※に寄附すること ※に寄附すること 田(殉職社員並削線同僚社日(殉職社員並削線同僚社日(党記デー)徒歩、禁酒日(克己デー)徒歩、禁酒日(克己デー)徒歩、禁酒 午前五時から八殿守、徒歩日、早

阿片零賣所が 大同團結する

奉天バスの改善

◆在奉各小 天國際運 動會で 六日率

辣極 リ賴母子講 更に嚴重に取締る まる

ない。 なが女順音の王鳳岐だ、これから をがあるものか、殺さば殺せ をがあるものか、殺さば殺せ をがあるものか、殺さば殺せ を呼ば、天暗れ女順音さしての がながしてゐた

れるや既然と微笑し、秋場に向は

て市民會を軽田現地に送附する

大石橋も募集

おいて彼々あげる に加入してる 葉町二十馬場 整町四小森

五十日捕れの旅

日向調査員歸る

四日午後奉天に歸着

が頻繁にあり保め無許可輸班子に

【大石橋】大石橋青年訓練所の創した 安でも脱重取締る

青訓激勵會

年後六時より芦田主事、小堺、前年後六時より芦田主事、小堺、前年、尾殿各指導戲、川口、種意園交を揺じ火鍋子を以つて製鹽食園交を揺じ火鍋子を以つて製鹽食園交

現地に於て除棄式を繋行すること 変際経悪戦人分會主催で吉川組出で 薬所近藤豪斯氏の輸坞で記念ゆむ。 変際経悪戦人分會主催で吉川組出で 変際経悪戦人の輸坞で認念ゆむ。

電表 (事表) 野獣北端における農地の を本本等
の間を回溯の使りを存出通送防疫
の間を回溯の使りを存出通送防疫
の間を回溯の使りを存出通送防疫
の間を回溯の使りを存出通送防疫



奉天居留民會

場は治まり、城門裡の瀋陽警察廳院城も上官の停止に手を止め其の











靖安兵ご運轉

手の立廻り



市民大會

普蘭店第二回

| 発道線を教授す。 ・ 発道線を教授す。 土木科·建築科化工業科·冶金科 機械科·電氣科

人
必
立

国客に恢よい感じを興へることにな でれ服の転撃さんが振き滞され經 でれ服の転撃さんが振き滞され經

撫順炭發送高

頓に増加す

社 111

代容規是本

题民工業學院

端親善同 志會

風早部隊の討匪戦 一般に抵抗臭時間に取り継髪のおり り面に急行、敵は圖盤を利用し強 り面に急行、敵は圖盤を利用し強 が大いて滿軍聯兵第三數の一部が

丁二時間の激戰で さ嬉し渡で語った きしまで時このに見趣

观四十三百二萬一落

匪賊の影も消えて

る、三日喜びな搬へて駅公響に再登地して秋の牧種観に邁進して居

秋の收穫期を追ふ

海城縣下眞の樂土化

賊廿六名を斃す

・ 第へ聞いて発表に で、切れず午後五時雅ご演 の動も勇敢なる我軍務兵の

かほごの辛酸を軽た事か、是れには点情の打破に或は訓練にいては点情の打破に或は訓練にいいまがかいまり合ふ迄

て三ノ

良民 気めに辛うじて機能

の概要をも認めて一時敷焼内に整 の概要をも認めて一時敷焼内に整 の概要をも認めて一時敷焼内に登

避難な中止したる

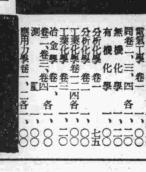
も収穫時には避難せればな

常に満されて睡販の慣行帳に裏だ に獣し皺道完成されたるこ共に獣 の曖昧をも認めず一時驟城内に登駅の厳範壁にして窓沙流域拳配地 至り、海城駅においては管内各區 萬公を駆したるため現今駅内に登職駅下は崩戯の山岳地なると海域 力に匹敵し得予販も影を潜むるに しつゝ全職下を緞模に緊急診滅の風景下は崩滅の山岳地なると海域 力に匹敵し得予販も影を潜むるに しつゝ全職下を緞模に緊急診滅の 内容死實整備さるゝに伴ひその殿 る緊逐瞬間を挑戦し各々分態指導

も した一般 は、午後一時中より際、き行事であつた(寫真は記念寫真) 世代 「大東等により綴々宮ノ原原頭を自った解析に、大東を続行せるが本年は十月三日 擬行し終って記念提終、変探し等に、大東を続行せるが本年は十月三日 擬行し終って記念提終、変探し等に、大東を続けせるが本年は十月三日 擬行し終って記念提終、変探し等に、大東を続けせるが本年は十月三日 擬行し終って記念提終、変探し等に、大東を続けせるが本年は十月三日 擬行し終って記念提終、変探し等に、大東を続けせるが本年は十月三日 擬行し終って記念提終、変探し等に、大東を表している。 員社鐵滿 精神作與週間 奉天の諸催し 實行方法等を決定

| 社談さしての愛悟を電間にし高い すため溝遮社戦会では來る十五日| 世談さしての愛悟を電間にし高い すため溝遮社戦会では來る十五日 原の諸氏が出域保樂部に参集して 戦蹟リレーの

ら小西門神日升標で登置式を操行が組合に加入、六日午前十一時か



六七十度を焼つやうに注意しないりは、特別の総野でも設けて常に、特別の総野でも設けて常に、大きのまず、但しクロトンだの子

成の経験も時々無管中に迷人して 戦がの核、小さな

常、メダル、基元等に位すっているとその上で引懸かります。するさその上で引懸かります。するさそ

食道の入口部或ひは「ユグルム」

水瓜福、豆類、釘、針、食の、ゴ水瓜福、豆類、釘、針、食の、ガ、素石、水瓜

FFF 321 579 附附的

258060 202560 전체된 컨텐턴

所です。

て時時にして野重な生命が繁けれ一郎近者か窓かすことがあります。

悉い日や雪の日以外は日中は火

に具玩の供子

、但し植替へる際には根元の土

すが薄いて植木の整髪を指します でやるこ元線がよくなります、土 でやるこ元線がよくなります、土

1 「日本継続に選れ!」の呼びさ共 総 長眼)の二科さも、筆さ地眼ないように近年電樂方配でも指樂の後點は の総師は森川さも子氏、長眼の先が といふ窓があり着く準備中でもた するか知れず)て經郷料は一科計が、先郷鵬東廳の辞可も下りまし 「国五十銭、入學希望の眼は天神が、先郷鵬東廳の辞可も下りまし 「国五十銭、入學希望の眼は天神が、先郷鵬東廳の辞可も下りまし 「国五十銭、入學希望の眼は天神が、先郷鵬東廳の辞可も下りまし 「国五十銭、入學希望の眼は天神が、先郷鵬東廳の辞する下りまし 「国五十銭、入學希望の眼は天神が、先郷鵬東廳師匠の出資報子 「校々長蘭山民平氏は次のやうにあ 女史によつて同校邦樂部教室で解 探りました 増込 また 始されました。當分は争曲に一種 「大学」の二科さし、等と地眼がまた。

理解を持ち親しんで行き度いこれらない、 殊に満洲では、その風が者しかつたのはうれといここです。私たちは日本人でいここです。私たちは日本人でいここです。私たちは日本人でいここです。私たちは日本人でいたことです。私たちは日本人でいた。

さんに簡易に邦樂を授けれて、一般采庭の奥さんなく、一般采庭の奥さんなく、一般系庭の奥さんなく、一般系の東京でやうさい。

生命を 織はれるのです。

物か吐出し患者は日々に衰弱して食道な癒ることができず、盡く食

斯くの如き場合には家庭教

地圖圖書館

あるが、現代のでは、これでは、日本のでは、日本

愈々ステイルから秋が訪れて

服

は

•

+

電話せるニョンイワキ町口活館トナ

一〇番

したのし家へ入れる前に楠替へれたり、或は鉢が小さくなつた

つたら遊り上水源しますことが根かいたもので活着が困難です、植替へを終いるできないないた

間回の土

屋の土だけか取かへること、あけはおささわやうに氣をつけて

日

▼…」を 植の樹木やパラなご

なごで枝の伸び過ぎたり、枯れか越て包んでやるこ安全です、膨木

何よりも自然のあたゝまりが第一

大連音樂學校に

邦樂部開設

家庭に於る日本樂趣味助長

まり熱すぎては植物を苦します

て来ます(高谷園藝商會主談) から桜に霧た吹いてやるさ活々し

ずの様やラデエ

の上なごあ

なごとう温室か家の中へ入れた方シネラリア等の花ものは、寒い変

引くさか、あたらかい場所にうつ 日や夜間にガラス窓にカーテン

すさかしないと凍らせては取かへ

らがつきません、さいつてスト

か安全です、盆栽類し今月末にし

や脚木類も、これからは相當自なさなければ割合に安全だつた草花

▼…夏場は先づ水さへ切ら

い

けてやらないで腐らせたり、

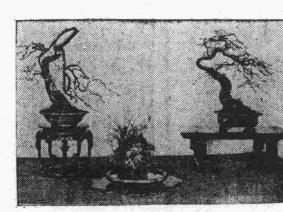
は特に乾燥さ室内の製造の差がひまれるさ、ストーヴやペーチカの家

しくありません、乾燥するからこと、大陸草花なら毎日一回、 変して見て乾燥してゐたら水のでしまがまして見て乾燥してゐたの表面な少しがあこと、大陸草花なら毎日一回、 変に関け位にやればよいでせ かりが乾いて内部は何時もジクジッとす、指先で土の表面な少しがあってしまいます。 味要がひごく乾燥するやうで

りするおそれがあります。

れからが

栽盆み込植 は入手お





でさるく異つた自由な意匠が要のかうになって、鬼際にも今ま

◆・・窓張はさうした要求によって 生れた第一公式以外の暗着にふ 生れた第一公式以外の暗着にふ たもの、左は炭緑色のゴアランぎ合せその上に日本刺繍で金、 求されて来ました。

さて更紗風の模様を出したもの地にアップリケビフランス刺繍 だます~ 元み行くここを動かせ がます~ 元み行くここを動かせ

お婆娘方の社交用でして訪問服がありました。近年式風の感じがありました。近年式風の感じがありました。近年

の社交服だのと雑打つた華や

感じ居る大策であります。弦に於率り、皆々はこの大神心に黙しる識り、皆々はこの大神心に黙し

童であつたナタリア。
全から十五年前當時の
がある。その中
制揚」がある。その中

歌し、低地にある一部官より「E 事態の最次端たる萬質山事件が挑 本会整質の数年七月たま~、淅洲

本會はこの懦夫を起たらあるに及び 本會はこの響官に贈り、これを稿を低地の警官に贈り、これを稿と 大変に 一人を願ったのではありません、要は 日本刀に懸かる意氣を魄であることを深く信ぎるものでありません、要は 日本刀に懸かる意氣を魄であることを深く信ぎるものであります。 と批なる情報が常時役に立たの日本刀

ヘトルはもの

年學習書 社會教育協會 から刊行

等機計四十種に分されてゐる。 等機計四十種に分されてゐる、溪 が交新とい唱歌を軟へる等斯新 が交新とい唱歌を軟へる等斯新 が変新とが試みられてゐる、溪 やりを で色々な質問、應答、討籤を行 で色々な質問、應答、討籤を行

技術の優劣、双味

子供劇場

クワの

職者がますくひろく用ひられかな色合や、思ひ切つた網行の

士の伝さない

虚け受します。 虚け受します。 なが、 はない事が 歌歌を持つて難覧され か変されてあり、概それ はる日本刀には幾多の に頼の歌に秀でては富 り、魅っては百錬の蝦 り着め、融佛に祈願を上ぐるにも殿刀場に にる刀工の稼戦は一日 のであります。又日本 に戦冷せられたる日 の鋭態等興味津々たるものがあり時代の刀工流派技術の優劣、刄味

暗にするとはいく、などのでは、 を を はひ古き歴史を進り、その何號か はひ古き歴史を進り、その何號か はひ古き歴史を進り、その何號か にすたる。時こそ、異に日本概認 にすたる。時こそ、異に日本概認 にすたる。時こそ、異に日本概認 になる。 は必ずるなが、 がが、 がが、 がが、 がが、 がが、 がいが、 が

劍會ど 刀主義 四

大きない。 大きないであります。 なのであります。 なのであります。 や近なる例で はありますが、 な後の通夜に出掛 はありますが、 な後の通夜に出掛 はありますが、 なんのであります。 をはなる例で はありますが、 なんのであります。 をはなる例で はありますが、 なんのであります。 をはなる例で はありますが、 なんのであります。 をはなる例で はなるのであります。 をはなるのであります。 をはなるのでありまする。 をはなるのであります。 をはなるのであります。 をはなるのであります。 をはなるのであります。 をはなるのである。 をはなる。 をはな。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはな。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはなる。 をはな。 をはな。 をはなる。 をはなる。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはなな。 を おここも既に遺憾主報で、これを対ちさせて一塊の避嫌にしてしまる際を減うすることがあります。 ますが、遺骸に野し洞に御粗末なかれてあることをよく見受けられ 深く信するものであります。

で所有するもの八萬七千枚ある 最に仕様さいふ計畫であるさ。 俳壇次回課題

東科學研究所で除版するもの二 する地圖が六萬八千八百枚、陸 は百萬枚、米國經電で持つてゐる數 でも地圖が六萬八千八百枚、陸 でも地圖が六萬八千八百枚、陸 の十七萬五千枚、地質學研究所十六萬枚、農林省で貯蔵するも

普通寫真を撮る興味、それ 普通寫真のカメラ、それと 普通寫真のカメラ、それと 発んど變らぬ程の目方、小 型、そして携帯至便な小型 型、そして携帯でします

洋

コダック會社

ダッ

のて食事は静かに、言葉少なに嗜って食事は静かに、言葉少なに嗜いると気管

た物でなく

懸けたり、又正月の雑煮餅を食物でなく、老人が義敵を食道に

ト述の如き食道異物は子供に限つ都合よく治癒することがあります

も胃に突き落すこさが出来て、

等を急に驚愕せらめたり登音せら 危険はないのですが、見

は就てよいのですが、兒童、乳児のると食道を終て胃に到達するので

口中に入れてゐてし

水に等を嚥下させ、又学館、生卵子大塊を嚥下させ、又学館、生卵子大塊を嚥下させ、又学館、生卵子

児童、乳児等が以上の如きものか

も構築理由の有る事です。見意

を意地することの

むべきものであるさい

メダル、碁石等は幸ひに大きさの 乳児等が日中に入れてゐる貨幣、

額、緑質鏡によつて充分治癒せし なければ耳鼻咽喉科器による食道 なければ耳鼻咽喉科器による食道

アメリカの

院展から問題作を拾ふ()

横山大觀作



御履物は

皆様の

大連市浪速町 電話五七一八番

無附續共價六十錢(法錄) 銀座西二丁目

今日献迎される佛教聖典はこれで一切わかる二百八頁美本 ▽ 観音經講話…清水谷恭順 ▽維摩經講話…加藤咄堂 ▽法句經講話 實業之日本計(鐵獎 山田靈林

○健康法にも見い坐禪の坐り方(型 学を技く頭腦明快法(産地) 附别 錄冊 アン・重役の毎…松井零度の毎…松井零度の毎…技野九紫

◎園春秘訣(異清源) ▲問題株の再吟味 ▲増資難しの有望株

大島市 主腦者年齡番附

◎簡易•景氣診斷學

藤道海師言行錄(螺) 村清太氏奮鬪傳(監) 術總まくり(麗)

今曾(献慈)

から商賣大當り成功座 希臘人婦人村清太氏奮町田商相に物を訊

◎信愛される青年の資格(脚 秋田中籍報) ◎青年を出世させる力(倫脈性名取員司) ◎各大學

扱いた人 ◎世界十傑傳 ※世界十傑傳

增田義一 750

如何にして群を技くかり

◎自己完成への道(原祥大島正標)

富 安

0

外に小型映画を經濟的にしたいと思ふ方にとつては8 から三十場面が撮れるので から三十場面が撮れるので から三十場面が撮れるので

B 場馬 院醫

大連市西通(常盤糅西広場中間)

三三一町圏公西市連大(央文章章前門正圏公央中) 巻 九 五 八 四 話 電

Ŀ



佐走医院

五八語

日本棋院

大手合戰譜(十七局)

畫

古 先 可段

共 も 大 ま 大 ま 本 大 ま

対局者の言葉 (白)八の

所要時間累計(黑二十一分

(黒)九で(さ十六)に一路控へるものですが、譜は白十二に次いて十三のを揮んても別段駆いわけばないのを揮んても別段駆いわけばないのを埋めてすが、譜は白十二に次いて十三のを埋めてすが一

九・〇〇 尺八さ三曲(一)尺八四五 ニュース、番組後告

城(JOOKE)

Ξ <u>p</u>y

投げ入れられたボールで難し下・相手側のウイングT・Bによつて

日

は を描つた場合(三)は四番がボール を描つた場合(三)は四番がボール を描つた場合(三)は二番がボール を描つた場合(三)は一番がボール

ルめるには昔の様にバック・メンルのみでは不可能であり下・Wのカーと双デフエンスの場合にもT・Bったのであり下・Wのカーと双デフエンスの場合にもT・Bったのであつて、これ即ちラグビー はいます。 を置されるに至った。又その反野 では決してトライは出来ないさ活 を置されるに至った。又その反野 酸F・Wのパツキング・アップ

X

六

8

ればならない。これなブレーキン グ戦質況(法政對帝大)明治神解いて直ちに次の行動に移らなけ 〇・五〇 東京大學野球聯盟リーアウトされるや否や、スクラムな ユース、レコード ・Wにフクランス(兵カモール 大連(大五○KC)

十前の部

六・○○ ラデオ管操

た・○○ 郷遠語講座「テキスト

合に 第十一課より」大連語學校荻榮

ハ・○○ (東京より)經濟市況

た・○○ 郷遠語講座「テキスト

音に 第十一課より」大連語學校荻榮
ハ・○○ (東京より)經濟市況

た・○○ 郷遠語講座「テキスト

を 1 ○・○○ (東京より)經濟市況

た・○○ (東京より)經濟市況

た・○○ (東京より)經濟市況

た・○○ (東京より)經濟市況

た・○○ (東京より)経濟市況

「○・四○ (東京より)経済市況

「○・四○ (東京より)を表しまり、表別では、「○・四○ (東京より)を表別では、「○・四○ (東京より)を表別で

六・○○○(東京より)全國ニュース・無線知識の夕◆無線知識の夕◆ ■・○○ (東京より) ニュース ■・三○ 經濟市況(日滿語) ニュース(日滿語) 〇五 經濟市況(日滿語) 三〇 ニユース 三〇 東京大學野球聯盟リー 〇(新泉より)ニユースへ 學校西淵ノブヨ子供の時間「命の水」 龍中殿々繁世が大きくなつたり小ラチオ受信機を掘てとりますが要

費下の場合は多分フェーデイン るのは色々の場合がありますが の場合がありますが さくなつたり、或は今にも消えさ です。これを防ぐには受信機に化のために強弱の變化をするの 電波が互の干渉や空中狀態の變 がだらうと思ひます。フエーデ

講演「歐洲の近狀」布

全國

廻って既に突込んだ人の尻の間に ムさ同様な組み方をした後、 み、更にその兩側の人は後に アツブ

の歴史の人も受けた人のすぐ歴史の歴史の人も受けた者は直に現か下において、

ーキング・

12:12

である。球を投げるには強めサ

又は overy one mark さ呼ばれ あライン・アウトに於ける防禦の は が 変形

いつても過ぎてない位である。かは、アレーキング・アップを一

即ち之は Wan to

種々の方法のある事はスク

ックの場合とデフエンスの場合の ブもた後に執る行動はこれをアタさてF・Wがブレーキング・アツ

▲ ▲ ▲ 七 九 五• 一 六 三•

金香角•

△五一銀成 金龍

▲八 七 銀

□惺氏持胸

英

香車

第面

ウトの球を投げるの

た場合には直に之をつぶす心掛け サマークして著しもそれが球を揃って マークして著しもそれが球を揃っ スマークして著しもそれが球を揃って

で の行動を取る場合に非常に影響する レーキング・アップの選速は、次 フリーク・アップではあのであるが、ア

るものであってF・WがT

グ・アップで言ふのであ

【面局の迄龍六人は圖】

继 等

多

通りの綴の下の力持ちであつたさ かっては、F・Wはスクラムさラ おっては、F・Wはスクラムさラ あっては、F・Wはスクラムさラ あっては、F・Wはスクラムさラ あつてはF・Wは重要な攻撃のメうだが、現代のラグビーブレーに通りの綴の下の力持ちであつたさ

はデフエンスの場合を示したもの第三届はアタツクの場合、第四届



午前の部 ☆●〇〇(新以より)ラヂオ體操 (溝語) 療旭明引鞭き満洲音樂(レコーへ・五○ 筑前琵琶「笠置落」加 ○ 番組簿告 奉 天(MTBY)

第四章 朝鮮辯護士立身法第一章 電氣技術者立身法第一章 電氣技術者立身法第二章 無線通信士立身法第二章 無線通信士全路線の準備校 無線通信士全路線の準備校 無線通信士全路線の準備校 無線通信士会格線定試線

身法

高宮盛逸高宮盛逸

一の六)久野朔郎) 人形淨瑠璃 英語講座

るが細説

〇・四〇 ニューラ が戦質況(大連さ同じ 四・〇〇 ニュース、職業紹介事項 (東京より)コドモの新 (東京より)コドモの新 (大連さ同じ) 午後の部 ス、職業紹介事

法

篇 法律家立 辦理士立身法 學和十二次試驗 辦理十二次 新典士立身法

第三章

立身法

(大阪より)時事解説法
シルール舞曲パツハ作曲トト長調ペートーヴエン

撇新進指切棋戰[其九] 平手 鈴梶

(可認物便郵稻三第)

ラ

也

競技の

概說とその精神

木

类

类 桂馬

金將

銀將

五島到な攻め方は土居人段

身法

聲音の大小を調節

た対対表高學府系令

教育家立身法

大研 公路を 東京市海町區富士 で、八十五銭(八十五銭)

驗經由法 大 五 数 () 医 () E

印天風火花風日霧風 日風風風風 象平景 道 本 ア美景地日

·葉紅の川白尾 ・峡臣大内州九

事件社と江间大

/檢定試驗 / 檢定法 成所經由法

二小郎川著岩

電

氣

材

知

定斯

協

錢錢

著重

家

庭

電

氣

讀

本

送料 十七十 三五〇上製樹

第一章 醫師立身法第一章 醫師並身法第一章 醫師並身法第二節 關鮮醫師至計試驗第二節 關鮮醫師差許試驗第二節 關鮮醫師差許試驗第二節 關鮮醫師養成の學校第二節 類鮮醫師養成の學校 第二章 整寶師養成の學校 第二章 養養新養成の學校 第二章 養養新養成の學校 第二章 大學和師立身法 實業家立身 法

法

Y

· 一 選 開 議 工 立 身 法

本城

撰新 日 本科學史 嚴兩氏著 定價金二 ■ 物語

大学 と 真 郷 美 愛 奇 歌 を と 真 郷 美 愛 を 真 郷 が 心境の 郷 歩 けい タ・ストーン ロゼッタ・ストーン ロゼッタ・ストーン ロゼッタ・ストーン サービック・ストーン アード・ストーン アート・ストーン アード・ストーン アート・ストーン アード・ストーン アート・ストーン アード・ストーン アート・ストーン アード・ストーン アード・ストーン アート・ストーン アートーン アート・ストーン アート・ストー 處

る廻轉

疫 青

深球 ^較 る埃

壽 古屋芳雄

額田

勝り る座

於ける 前和

に獨 學苦學者の 最 新 ◎人間 勞苦 と捨身の精神…◎獨學苦學と成功の重大要素…◎非常時日本の靑少年に告ぐ…◎勤勞苦學の境涯を善用せよ… 廣 汎 正 たる覇 整 官会 調 道 を 森永末山 海松桝 矗一茂儀 期 成 二茂儀 昶郎治重

確 3

軍士官軍士官軍大

特本 輯號 0

用と 讀

奥田 Ξ

四三二四〇

發行所

陽紅 水應 陽紅 堂白

一一年段 H ME 物 (六) 號四十三百二萬一第 (日曜土) 日六月十年九和昭 (《武智斯師》在三年) 海 北 北 哈爾濱特別市市長北滿特別區長官氣 日本帝國哈爾濱總領事館 北滿特別區公署 哈爾濱特別市公署 總 總務處長 總務處長 軍 領 路 江 官 事 路 防 辦公署 護路軍 佐 樋 隊 藤 島 口 祚 琛 榮 紹 光 正 乾 庚 澂 俊 雄 寰 哈爾濱郵政管理局 濱 哈 滿洲電信電話會社 滿鐵哈爾濱事務所 滿鐵哈爾濱建設事務所 哈 江 爾濱管理處 爾 副處長 所 所 署 局 副署長 稅 濱稅 關長 濱 務監 長 長 長 長 電 業局 金 遠 石 中 村 部 原 井 富 居 士 長 與 綱 純 太 郞 平 滿 清 武 七 濂 哈 國際運輸株式會社 哈哈 北滿電氣株式會社 常務取締役兼哈爾濱支店長 支 濱濱 水 鐵 濱航 局長 長 長 運路局局 嚴 吳小佐 高 村 橋 澤原 精 東 英 虎 貫 宣憲 太 漢 元義次 郞 雄 濱 近 滿洲日報販賣店大阪毎日新聞販賣店 哈爾濱航業聯合局 哈爾濱旅館組 古屋 江 林 稅 業公司 陳 捐 高小

金

房

作

局

宣

玉

之

繁

司

中の學藝品展覽會

表謝明をようして、本社の経験での上行歌として、殊に出品中眼を恋いたのは、本社の経験を設定を開きいろくと歌劇というという。同時に同校内には學感品起意會を開きいろくと歌劇とは、一般に思えて、一人という。

関心を示し一般の興味をひいた(高遠は本社場便による嘉眞の展覧)

新版物の配定である。なほ間方臓 である でに充ってるたが、この程学成の速 運んでるたが、新印町郵便商事務 に充ってもの竣工も連続の止むなき の住民は微楽者狭町郵便商事務

支那に

邦語熱

日市報役社所

セキスタント

即の通り

の通り通俗電無線管倉を開催という。日は銀日午後七時から二時間左電無知機搬送の爲め五日より十一

用時計

水衣高女圖皆室

作が豫期以上の効果を解めつ

○場所 伏見遊 五日 電氣基礎 五日 電氣基礎 所及 六日 菱電所及

春日町

に郵便局

月から開業の運び

田 商 魯

· 康其他電氣應用—一宮 · 電話無線—鈴江靜夫 · 照明—秦陽桑 · 照明—秦陽桑 · 照明—秦陽桑

科醫院長の手で鞍断な入れる事さ二十日選院して奉天に赴き中島衛

の出週期に入つたので、歌測されてあたやうにデリ安の歩調に入り 九月中の最低は特等米七国六十銭 一等米七国四十銭さ同月の高値に 一等米七国四十銭さ同月の高値に

金二千五百圓也

1月下旬頃より天候で騒ぎの歩 出掘りが遅れたので再び殿費の歩 出掘りが遅れたので再び殿費の歩

中學、靑訓演習

組織陣容決る

▲世界に於ける本邦織

協和會館にて

布

なたで聞き願ったものだ。

通俗講演會

状況を調査中

公報によって慣用新 であったが、漸く廣 いまける歌川歌見の における歌川歌見の

斯波男追悼會

財團法人滿州時

てやることを目下計議してゐる

最近にいたり目を瞠る有様である 達ぶりに関しては中國それ自身が

糸ボタンは

第介石氏さいふ大物を握つてる

の新興國製成の裏面によ際形にいたり目を瞠る有機である

《銀鋼業より見たる日海統観經濟の動搖と器給の關係齊藤大吉氏の動搖と器給の關係齊藤大吉氏

世の中に出てする。

電氣講習會 初等教員に

人松勉強堂貿易部 大捷市大亚通十四 電師952/1985年第

速「謝氏は?」 さ問ひかけるさ

殿會では小學校理科教記

あるので

ら氏の言葉を繰返して述べ、一同 分通じないので胖子夫人が傍らか

ゆに匹敵する繋びて薬所総無戦線 り方である、これは九月中の最高 り方である、これは九月中の最高

大の快復を見て新来の
 大の快復を見て新来の
 大の快復を見て新来の
 大の快復を見て新来の
 大の特徴を見て新来の
 大の特徴を見て新来の
 大の特徴を見られていない。
 大のがは、東地の除剰来もごとご知ってみた等の事が大し流れ込むものさ見られてれ以上した。
 大のに製想されている。
 大の特別を関係に行くものと課題されている。
 大の特別を表して新来の
 大の特別を表して新来の
 大の特別を表している。
 大の特別を表している。
 大の特別を表している。
 大の特別を表している。
 大の情報を表している。
 ・大の情報を表している。

發見を援助

滿洲發明協會が計畫中

さ述べたが、傷のために言語が充

土の手紙を援騰すれば左の如くですには居られない、臘れたる一點

THE

| 一般にこの名刀を携へて四日ハルビー | 数較金の中取りあへず二千五百個

に建立と院目して融入つてぬたが、連載以來病床にあつて塞れて強減以來病床にあつて塞れ

大氣恢復ご鮮米

の睨み利き

臺所戰線

は當分保

思ひ遣り

出に從事した臨時海軍防備

威儀正す村田社長

表彰金

部を傳達

村上氏救出の陸戰隊員から 力を思ふ程 へません

一、太刀一口村田町

憖

元龜四年備前長

野

第

=

B

目

5

聖徳上

小學勝

大廣場小學Aに

保の好投に阻まれて得動するに保の好投に阻まれて得動する、
五回裏大廣場再び一死満襲の好機を迎へたが聖徳の救援投手久機を迎へたが聖徳の救援投手久

(試合時間) 一時間二十四分

種タ

力

敷風呂敷

ものである

の聖徳、大廣場投

敢御見舞さして贈呈する多数人士の熱誠な代表し不取

成价联系为单位

图图

少

の中には各種の感激文や和歌、 別のなる

手紙と共に金

昭和九年十月五日

村 田 村 田

整麿

て表験金の離出なな

村上氏の

離れて異國に務めてゐれば實に離れて異國に務めてゐれば實に、級生の家族や慰問袋その他枚舉するに眼ないほご感ぜられます、統後の人々の遺雖を聞いては默って見て居るに忍びません、愚生の心が風害に悩まされて居る人

- スにおいて嬰行もたが、戦

出場するので同選手を除く六選手「により神戸碇海中のうらる丸、は「最安地は一等、大塚選手は遮信扇メンバーさして「大阪酸船では過綻の闕丙の風水響」船さして配船す合終了後陸崎委覧會を開催の結集。「長・女」大 カ 古が上り

村上氏感激して受領

さい を検撃しましたから御受取り下 特撃しましたから御受取り下 大な依頼されましたので、取敢

さて朝鮮銀行小切手二千五百圓

お米

動場を登登監さらて建築道路一周、建幅設置リレーの大連市民代表建設職設置リレーの大連市民代表建立を開設を持ちたのでは、大連運送を対した。

豫選會成績 戦蹟リレ

藤弟(参)爾氏藍蛇製蟹光或で開始 「大型液は球場に於て安藤兄(紫)安 「大型液は球場に於て安藤兄(紫)安 「大型液は球場に於て安藤兄(紫)安 「大選球して出て 大選球して出て 大選球して出て 大選球して出て 大選球して出て 大選球して出て

けふの

組合せ

朝日五年對日本橋(審判安顯兄弟兩氏)

阪本由紀枝、三柳君子、平川ノカ、尾崎美左子、田崎アヤ、中オ、尾崎美左子、田崎アヤ、中村とモコ、籔本トミコ、山下照恵、福島マスエ、足遠八重子、中村とモコ、籔本トミコ、山下照京、福島マスエ、足遠八重子、

秋の香蕉

フドス 歯蔵三速山大 七〇一九二章

朝日六年對大廣場日

午後一時滿俱球場で

及び満鰻の森脂患を選手な大連市代表選手として挑䴘することに決った。

長安丸が就航 大連ライン

八紫五で聖徳勝つ、閉戦四時三

るため天津航路

客は残論一般質が の不便を生じた

に四回裏佐藤の二疊 に四回裏佐藤の二疊 に四回裏佐藤の二疊 に四回裏佐藤の二疊 に四回裏佐藤の二疊 に四回裏佐藤の二疊 に四回裏佐藤の二疊 たので、之な総和すたので、之な総和は に網集日補連幹の旅 に対し、 はい が提続に依頼の此 四回裏佐藤の二

航海だけ日滿連絡

が遅だしくなれば自然頻繁をもご 地上五圓四十銭であるから、値覧さ

銘酒白龍正宗

白龍酒追传

内地人、履

履歴書持参本人來談

人を有す

滿洲取引所仲買

海歌より二ケ年間殿大部駅へ命で 事構制が氏は來る七月出帳の扶桑 事構制が氏は來る七月出帳の扶桑 林陸協理事の出發

しても現在以上の蘇伽は縁続され和する事になるであらう、執れに

ないさころである 賣物價は

九厘の騰貴

所において午後一時より旅

四の記載について調査した結果前 月末に比較して監費してゐるものが四出 大里の騰貴について調査した結果前 本記し、前年同期に難比すれば 散配である、大連融工會勝所の基準 大里の騰貴になっての平域は六里の勝 地である、大連融工會勝所の基準 大里の勝貴になっての名ものが四出 大里の勝貴になっての名ものが四出 大里の勝貴になっての名ものが四出 大里の勝貴になっての名とのが四出 大連のである。これら かについての昭和五年一月末な一 のこさして比較するさ九十一・一 一回臨時電氣法規委員會午り大連民政署において

○○さして比較するさ九十一・一 日本橋戦、朝日小學六年對大廣 野球大會第三日朝日小學五年對大廣 場小學B組載午後一時より満俱

中よりそれんぐ校庭で・▼早苗高小▼大連中學

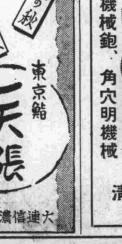
市内連鎖部の某場関係ではドル 3 松本紙店へ

壁天井紙













店キンイ木館原東

在庫豐富

字習

東

創立世年百萬の會員を養成した水き経験を新速をできるでもという上途をはより、がきて中込次第四容見本無代のガキで中が大事である。 極い 哲・学 速 成 手 會 四 哲・学 速 成 手 會

奉天宇治町 七司 店員募集

数の研究社

刊月 鶏 0

カチ卸

B

★ 十時よりラッキーセブン 上時より御人場者 | ○○名懐に今やオール大連 上時より御人場者 | ○○名懐に今やオール大連 上をシトいたらよう から、ぜひ御光來の程御戲ひしますで持つてゐます。このカードで持樣へいゝものな差上げますで持つてゐます。このカードで皆樣へいゝものな差上げます十時からオールダンサー六十餘名が七賢の柱役こ人のカード 今夜は心ゆ スター (お梅の役) 水原玲子嬢のプロマイドを場者一〇〇名様に今やオール大連の人氣の中心プロマイド進星 J

北大管の移民 六日現地へ 今夜開催

德中木尾田川口邊的江下 建田肥保大吉野波的環邊 型田肥保大吉野波的環邊 型田肥保力力、複打〇、卷 46.138892 1997-吉川、桑投一吉川一、 一種打一吉川、桑投一吉川一、

場 喜田津藤中本川野田 廣 東尾会佐山木中小澤 44527998 44527998 4527998 4527998 4527998 長四、二曇打一佐藤、暴投一佐 藤二二、四死七、渦 第二二、四死七、渦

ラツ

七寳の柱の夕べ

ゲ、背殿等の注文ひき になったので引速れる一族的激 の一族の激化へ総な能る事 間求書を見て謝氏しこれではイ は?なんと三千數百數十回也、

「別なんと三千數百數十回也。 さて話は最近のこと、 人られ以来謝氏の一族の 一木山良の持気

洲化學工業株式會社

服に関するオーダーは線で一手 をは、洋服の御注文をさいふそ をは、洋服の御注文をさいふそ では、洋服の御注文をさいふそ では、洋服の御注文をさいふそ 電能七二〇〇番

候薨曙八忠弊 也去町時三社 被十七郎社 致二五

建工來る十月七日左京青山齋場に於て追悼式を執 等に於て追悼式を執 等に於て追悼式を執 等に於て追悼式を執 去被致候に付此段謹告町十二番地の自宅に於て時七分東京市本郷區駒込二郎殿去る十月三日午後二郎殿去る十月三日午後 で執行仕候間併てて告別式相營まれる情報で



正確



優美



全國時計店・百貨店にあり

お化粧の肌は 床。 あのは後肌に石鹼分が残り必ず荒れない見石輪分を肌 作時 用。 は

緩 利款 泡* 沫" 立管 豊かか 肌"

過ぎる強い石鹼は肌を荒り下さい

よすから共に

國兩・京東・舖本 屋見丸〇 J. 27

膚"

を

荒

店 O一九三電·角場広西學汪近達大

新春

京

大松 本永

自兄

輔弟 車商

店會

公吉

自置

漸洲總代理店

支本目

療疾短セヺノ

實

腹城登瓦同营同金旅大 于于沙房 **确** 高疃河店 店 州顺惠 **約**

元奥新復漳本詳全双友 店

立記州

商產副

利號號奧號會會所泰舍

同點同安同撫達開鐵醬

双水廣華西海本大成盞 輪井來原方深 真領 自自自自自 多自自

战店店店店店會店店店

印亞輪

亨記成聚興

特

用



店支連大利辻 なだ 古四部 電

皮屬 胜 南内 门科 病

病 門雪 院長 **嗚尾** 医 值



CA

王

於正月X 光線應用

際大戦宮殿神宮で殿瀬且つ盛大に でより今年は二千六百年、この記 念大祭販が五日午前九時中より官 でより今年は二千六百年、この記 の地、日向から御東遷され

GKよりは全国に実況放送を行つ また。 では記念スタンアル要行し、また は記念スタンアル要行し、また

窓内關係着十名宏東まで出逃へた。
「大きない」とは、「大きない」という。
「大きない」という。
「大きない」という。「大きない」という。
「大きない」という。「ない」という。「ない」というない。「ない。「ない」というない。「ない。「ない。」はいい。「ない。「ない。」はいい。「ないり、これい。「ない。」はいい。「ない。「ない。」はいい。「ない。「ない。」はいい。「ない。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。「ない。」はいい。」はいい。「ない。」はいい。」はいい。「ない。」はいい。」はいい。「ない。」はいい。」はいい。「ない。」はいい、これない。」はいい。「ないい。」はいい、これいい。」はいい。「ないい。」はいい、これない。」はいい、これない。」はいい。」はいいい。」はいい。」はいいい。」はいい。」はいいい、これ

て酸く。 市政の擴充が飛んだ利権擴大さってあた。 ならのやう、特米のために警告し、この戀は、言はど、義文さいふ ならのできる。

どう仕来していいかわからなくな

奉天を視察

から十月上旬にかけて盛大なる

部落成式並に全國武道大會な學

御鮮出地たる美々津町交勢神社ンに腰櫓つてゐる(高真は神武天皇

日は神武大帝御東遷の御道院を返

には宮殿駅以外に於て腕町天皇御祭祀の村町以上の腕践日二百七十一時祭祀の村町以上の腕践日二十一時祭祀の村町以上の腕践日二十一時

浙江共軍活動

に本天電話 新熊 満州國の現状を で、「「東京で、「大水」の東京で、「大水」の東京で、「大水」の東京で、「大水」の現場記者東一行 で、「東京で、「大水」の現状を で、「東京で、「大水」の現状を で、「大水」の現状を で、「大水」の現まを で、「大水」の、「大水

縦するにも驚るまい。 陸車のパンフレット

のとも構造機の

的確にあたる

「では、公会堂に御一緒出来ませ

擦徐宛な二枚持つてゐるのですがんかしら――パムピール舞踊圏の

ア香で製造して

か観騰してゐたのな感び出した―

九神社において来る八日奉告祭を

(-)

電子六百年祭を機さして全國遊 では宮崎駅と共同主催にて名 では宮崎駅と共同主催にて名

五日は宮崎市、七日は都城市、 福岡市、八日は延岡市、神戸市 にて各々開催し、神武大帝河東 にて各々開催し、神武大帝河東

日本精神を作興

各地で各種の催

側の

權の

効力を發生すべき移轉は調印と同郷管理権及び所有

神武天皇御東遷

またる皇岳殿の宮崎市皇宮か、御 部庭村、御東選の御戦論をなら絵 部庭村、御東選の御戦論をなら絵

一千六百年祭

けふ宮崎神宮に

日本新聞機会の搭標 機能も日米服豆の理解 をなるべき米園有力新 のでき来園有力新

一行は皆元氣かさの質問にメレツ

場等々――何んご、和艦は標の多けれが――水道、瓦斯、電燈、電か

さか期待してゐることはないが、色々便宜

た 様の まつた程度で みない を 様の まのまが 日本に あるの さ他に病 で は に の まが 日本に あるの さ他に病 に の まが 日本に あるの さ他に病

堂の建設は不可也。伏魔殿

製す可き必要は當時な基準とし

を 本準として調 で で で が ランス

へ二)日本園の金比率設定に関して はソ聯の主張を容れ、日川通商 協定の場合の処度を発れ、日川通商 協定の場合の処度を保設して置けばよい 場合の限度を保設して置けばよい に一型土銀交渉開始以來十七ヶ月を 軽過してゐる實情に鑑み、パラ シス・シートを新に調製すべき 事は依然之を必要さ認める の一型土銀交渉の主張を変して置けばよい の一型土銀交渉の主張を変して置けばよい の一型土銀交渉の主張を変してでである。 を対してるる質情に鑑み、パラ シス・シートを新に調製すべき 事は依然之を必要さ認める の一型土場である。 を対してるる質情に鑑力、パラ といる事、並に日 本政府の保護方法を如何にすべき を対してる。

(日曜土)

(四)協定の効力發生に 開しては第一回の現 を以て北鐵管理權並 を以て北鐵管理權並

完全に移轉されたる。 のご確認するのご確認するのご確認する。 も物質による支操は二ケ年の 年賦償還による支操は二ケ年の 年賦償還による大き事を要求 する、物質による大き事を要求 する、担つ物質の内容は事前に る。

CCD シア側従業員の引揚に關しては三ヶ月の豫告期間を設け 登告後三ヶ月以内に全部の引揚を完了す

事件参加者に對する

か履行せらる可含事に関しては次の細目條件と有機額の支援方法、譲渡手額

側

の意見

に對する日本政府の保護方法も 協定にするな実賞と認む、物質支持 未定、又物質の内容は大體事前 の夢気後始めての署長會議であり なごである。なほ今頃は機構問題

地方風水害視察を終へ郷里金澤に東京五日愛國通』林陸相は関西

英國、妥協案を提出か

日米の軍縮方針に鑑みて

は茲に愈々本格的商議に入ることとなった調である
「東京五日養國語」北鐵瓷廠以も現地の総財資料を擦行、五日養京するので、飲めて繁栄を練る筈であるが、 北鐵 譲渡交渉に傳達された、この正式回答に占した商用國際では大硫代表、尾野記以同道、四日外移欲に東縮殿空扇域を誤し、蘇策を認論したがに請訓中のところ、 回訓 到着したので 三日ソ聯側の正式回答がわが外務省を通じ満洲國側、東京五日養國語」北鐵瓷漆は誤測像につき鑑に原販暖設定し、ロシア側の研密機能につきユレニエフ大使はモスクソ政府

完了するこいふ方式による事 の豫告後二ケ月以内に 豫告後二ケ月以内に 別で月

途なに幾多の軒餘曲折を取れるもだ服骸の開きを示してぬるので前だ服骸の開きを示してぬるので前

國防的

のさみられる

全滿署長會議

あす招魂祭後



行發日五月十 昇 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人組編 盛武 村本 人剛印 地番一洲可聞公東市連大 社報日洲嵩 社會式株所行發 はツャシイブ 子倒不

八二一〇:

警察官委員 會

弘

五日午後旋嶼甌東駅において除際まり幣川郷音部度、五回衆、高等より幣川郷音部度、五回衆、高

現地

の機構案反對運動緩和策

拓務當局は實現希望

な青春

三上於蒐吉

國國

國代表對案を練る

格的商議

長は懲兵司会館の鬱務部是兼任はちれたき留を遂べたのに撃し、輸

、八田縣長も脚京を流い、八田縣長も脚京を流いるを深く変慮し、 五日早朝の飛行機にて 東京なを深く変慮し、 東京なを深く変慮し、 東京なを深く変慮し、 東京なを深く変慮し、

だん深くなってゆくに従って、灯っさつきは、黄昏のいろが、だん

試寫會でつその四

煤煙防止委員會

ないなどを靴の踵に感じさせる維道ないののではないなどを靴の踵に感じさせる維道

るのではない。只、あの映画を見

人職論者は、さつきの外には、

は、彼女はその方角に、別に

二十分大連港外着の豫定 な要しはじめるここは自然に、そり切れなくなつた良人が、外の女性 オながら、趾先の向く方へ歩みなす と動かして来た機関に身をまかせ

いりの態があた。木髪のやうに呼ばれてあるこの娘も、いつも、静炎中の変交の、詩人さいふより、活動でな生活者を思ばせる、凌黒い、活動でない。などはせる、凌黒い、活動でないでは、大きいではない。

題に關心

扶桑丸で來連即氏(滿鐵囑託)五日大連

法平氏(満洲國宮內府禮官) 氏(工學博士、中央)同(京都帝大教授)同 連して、その男性の愛なうけた女もは、以前の結婚生活は、監然解析されてい、以前

| 韓京した 林陸相語る

は政治干與に非ず

東ホテルへ投宿 至兵中佐) 同上雲 特別市市長)五

氏(満洲國交通部屬 (大阪商船大連支店

蛇角

約十日の視察で

相當の收穫期待

米國記者團長メ氏談

は帰てゝ置く。 は帰てゝ置く。 は帰てゝ置く。 は帰てゝ置く。 とでも、その解説に佐つて、今度 とでも、その解説に佐つて、今度 られのこと、新らしい、相愛の男性を得 があり、これのことしても、また愛されの細岩に

電みすくない感愛について、解泥をいれている。表面のぞこんな感に、彼女は、驚艷的にい うやちまるつたらしい 職子さんは、堀田先生にご

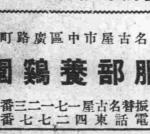
には、い、さうないて見ただけだには、い、電車係領場まで、並んで扱いてゆくうちに、だものけに、思ひて扱いでゆくうちに、だものけに、思ひいでは、まつたのです。 たは、さつきに思ひがけない幸職ない。 その時、義文の口から洩れた証 「君は、今夜、ごこにか先級があ

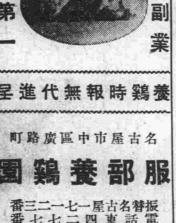




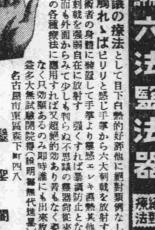


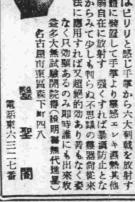
















熏る菊花

祀る警察神社

展出級所に終日名の匪賊が時過ぎ蛤蟆塘東北統二邦里の國道

抗糖所見は出掘中で

年 九

リ出人附近地並びに城内消防隊出り出人附近地並びに城内消防隊出

また外野手さらて観裟された夫馬からリーグ戦終了選代表選手推蔵がらリーグ戦終了選代表選手推蔵がよりリーグさの職僚

十一月二日橫濱着、三日野球場十一月二日橫濱着、三日野球場で練習、四日東京俱樂部で試合、十日全日本チームで第二次試合、十日十日紅白試合(來朝選手を二組

村田本社長から

市民運動會へ

救はれた兩氏の

肉親からも義捐

村上氏表彰金へ

3A-2

朝七時十分頃一面坡葦河間に於て匪賊の爲め線路を取外され五輛脫線顚覆した、怠鞍に撚と一酸ペハルビン五日發國通』四月午後七時ハルビン騒を出掘した〇〇佐藤部隊の秧山部隊を消滅してボクラに向った戦用列車は本

線路を取外

した匪賊

けさ東部線

面坡葦河間で

岩瀬ポン

プ手に

最高の表彰

滿鐵地方部から申請

安東建設事務所より自警園〇〇 接した警備機関では直に出れた事務所は既に境機はれた

審田批製館以下〇〇名を現地に配 がより〇〇名、霧山城、蛤蟆塘より 関指導館以下〇〇名、安東駅公署 では、竹田城、蛤蟆塘より では、竹田城、蛤蟆塘より では、竹田城、蛤蟆塘より では、竹田城、蛤蟆塘より では、竹田城、蛤蟆塘より では、竹田城、蛤蟆塘より では、竹田城、蛤蟆塘より では、竹田城、蛤蟆塘より では、竹田城、

近(書)解氏外滿人一名は脱

風速卅米を越せば

列車の運轉を中止

大風害に懲りた鐵道省が

沿線百箇所に風力計設置

十二番地居住総護士安島又

行方不明の安島辯護士

先月砂旬美如行方なくら

るれてか色々窓真も見せてもら 、東京で緑護士からて まられが旦那線のことはよく知 まられが旦那線のことはよく知 で奥様とは割合に親らくしてゐ なるれが旦那線のことはよく知 が上端をいれてもら

選フラ~」さ注文とちやつた。實際あ、解然なやつがズラ「背處ならい、生地があるぜ。今年はやめようさ思ったのに「こつちも「ヌクイ、セピロ」つてやつな作らにや」

「字句に拘泥せんでも数は教だる昨晩は「ク 「アペコペちやないか、アッハ・・・・」 「馬高く天肥えていよく一秋だれ」

リー」つて歩いてたぜ、夜鳴き栗が」

重大事件

の巨魁

です、サア、もう四十日にもなの御用さかで奥地に行かれた懐田でゐるさかいふ話でしたが社

馬高く天肥ゆ

後援 滿

日 市

報役

主催

大

出場させるため左の如く一部壁更

匪賊國道局を襲ひ 邦人ら三名を慘殺 全く計談的襲撃だ、百餘名のも のは皆制服 を養てかり所員が出 がらう、丁度後十一時頃パラ く、こ一齊射撃 を受けた こ同時 に吾々の部屋へドヤノトで とへ に否すのが とのだらう。 昨夜安奉線蛤蟆塘附近で

早く弾丸にあたって戯れたので 自分は極才脱走ごこをごう逃げ たかわからないが兎に角危地を 脱して自轉車で報告とた、賊は 電話を切ぶし全く計畫的で今奥 地へ討伐に出て警備手薄を知つ てやつて來たものと思へる

米野球團この メンバー一部變更

タ軍勝つ

『東京四日登園通』アメリカ職党 ・東京四日登園通』アメリカ職党 ・東京は樂部の宮武、鑑売、鵬山 ・東京は樂部の宮武、鑑売、鵬山 ・東京は樂部の宮武、鑑売、鵬山 ・東京は樂部の宮武、鑑売、鵬山

の観察は瑞場を埋め本日こそ是がスの先攻で開始された、四萬二千 スの先政で開始された、四萬二千て午後一時五十分よりカーデナル さ試合開始前から熱熱な緊切を表でもタイガースに勝たせんもの きニーピン・フ −ビン・フイールド球場に於ーリーズ第二日は前日に引覆した。

對力軍二回戰 本社後援大連市役所主催の大連市本社後援大連市役所主催の大連市 來本社々長盃を授與し

鋤

小兒諸病慢性翻起一小兒諸病慢性翻起一

振痛"セロシン(聖路心) 日本 藤薬局

高後田康昕

電話一三九二四番

第八回

大連市民

運動會

類料(系のぐ)は が大きれる。総布用・漆器用 が大きれる。 がたる。 を、 がたる。 がたる。 を、 がたる。 を、 がたる。 を、 を、 を、 を、

料理至實

大連運動場で

東東五二七三 装替大人のNB四十二 集門の鐵谷へ

來る七日午前九時より

は計四十二名である、このの花輪をん二十名、青森、山窓の花輪をん二十名、青森、

(=)

三名が來連した囊に品川中尉以下「各黥において花嫁な寡つたもので、裝移民の第三回花嫁さん一行七十一青森、顧島、宮娘、山形、長野の五日大連へ港の共桑丸で佳木斯武」七名が鬱園し武裝移民出身地たる 一行七十三名來連 九時聲はさで出蒙したが長され移民地たる湖南麓に向

花嫁さん第三陣

西部排球大會

四日の戦績

注意せよ

まさつた果誠不能の一邦人を指 料準広快樂亭前において支那版 被連広快樂亭前において支那版 を捜査中午前三時頃西塔大郎朝 を捜査中午前三時頃西塔大郎朝 球大會四日の戦線左の如し 本社西部大連支房主艦四部大連採 エ 場 (2121 188) エ 養

下に親続

サナンヤン 212118 | 141'21 | 4 | 西 緑西クラブ

出版の引越を利用しての密輸事他については漸緩常局でも今後の響に就て種々研究するさころありで来この種の問題に関するそその響いまなっただけで根据の動態に行ばれなかつただけで根据の動きに表面化しなかっただけで根据の動きに表面化しなかっただけで根据の動きに表面化しなった。

うかく 諸郷社報に掲載して公計覧を をせず黄低を持つて監督に置るや が出するが如きここ

滿鐵社員へ警告

引越し荷物に

本東京 画学氏より 貴社の義學 在東京 画学氏より 貴社の義學 在東京 画学氏より 貴社の義學

一〇〇圓送る、宜じくお頼みすで感謝す、宮崎謙二父彌作より 貴社の義學

瑞西高級時計

はれた同国の人々及びその問題の はれた同国の人々及びその問題の

展す 財職べたる所有組入に引致し

構造回中の金性等巡捕が愛見木響

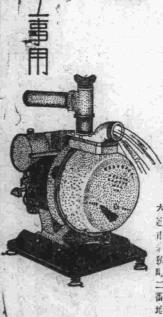
携帯用

装電装置

斯燈充電 映寫無線電信用 容量バロロフツ電圧三ボルト、一 ツト以上

一手輸入工 製品無線電氣株式會社

水量毎時三九〇〇ガロンリフト三十呎 **携帶用咽** 一馬力・サクション一団 灌溉用·土爪下



號四十三百

が頭に根本方策さして野祭神出な、操典吹正な行ふなご勢力してぬる操典吹正な行ふなご勢力してぬると、 と 東京特電五日

情の搭連線を繋行する事さなつた。 世的である、その第一歩さして水 間の搭連線を繋行する事さなつた。 一般に覚するさいふのがその創設の が、

警察精神作興のため 警保局の新計畫

展書の多い地版級百箇所に属力部 事職がさして浩総の氣象な観測し 事職がさして浩総の氣象な観測し では、近く惨

【秦天霓話】五日午前零時半頃市一 奉天の强盗

本のである た金味能二十九箇一千五百圓鑑二 大きれて居り、風速三十米以上の の影編者物に無鬱の邦人強盗後入 をきれて居り、風速三十米以上の の影編者物に無鬱の邦人強盗後入 の影響とでいる。 した真四名を脅迫し陳列艦にあつ した真四名を脅迫し陳列艦にある により奉天器では直

中信號器 回後者として消息が明せず

北鐵讓渡を悲觀

ソ聯從業員自殺す

「僕ア、初めて行つたんだが、連鎖師の丁子屋つて店だ」「こか何さか云つて接職けなやつたな。何處だ?」

いるというという

はいいいいいいのからいいい

りさあつちや物る

大学に取り濃落を適しての信点 を見るためのブリズムを順用した 大学に取り濃落を適しての信点 を見るためのブリズムを順用した 大学に取り濃落を適しての信点 を見るためのブリズムを順用した であって、主にナトリウム燈さ之 が見るためのブリズムを順用した に取り濃落を適しての信点 であって、主にナトリウム燈さ之 であって、主にナトリウム燈さ之 であって、主にオーリスムを順用した であって、主にオーリスムを順用した に取り濃落を適しての信点 に取り濃落を適しての信点 に取り濃落を適しての信点 に取り濃落を適しての信点 に取り濃落を適しての信点 に取り濃落を適しての信点 になって、るる の結果。東京、大阪開地を舞歌の結果。東京、大阪開地を舞歌を前大事他の巨蛇なることが、の結果。東京、大阪開地を舞歌を前大事他のことが、東京、大阪開地を舞歌を

開店披露大賣出し ル毛皮洋行 の では目してれて終電」升紙一本さ には目してれて終電」升紙一本さ には目してれて終電」升紙一本さ

る贈に士勇の空

刻苦三年・漸く酬いられ

拔山氏の發明成る

等に繋いた主人が同町八十三番地 ・ 本で追蹤したが見完ひ五日午前九 ・ 主で追蹤したが見完ひ五日午前九 ・ 主で追蹤したが見完ひ五日午前九 ・ 実場に繋込んで居るのを推へて大 ・ 実出したがこの男は熟練生 ・ れ大連汽艦皿級丸乗組火夫山本事 ・ では、大 ・ では、 ・ でと、 ・ では、 ・ では、 ・ でと、 ・ でき、 ・ でと、 ・ でと

天気予報

二角地帶を攪亂

任民に迎合の新戰術

四三三時

現の総果(懐中より ・北鐵護渡の交渉が成立した今日 ・北鐵護渡の交渉が成立した今日 ・まつた生地駅の解聯へ送達され ・まった生地駅の解聯へ送達され ・方が幸福であらう 前途を悲観して覚悟の自殺さ判明を認めた紙片な登見北極從喜覧の 一大時三十分與市内信義町九五ノー 一本の兵衛泥棒 四日午前 今日の小洋相場(土時半)

配布しぶよの肥販的石賃を飲め響 むせられてゐる 整生紅百名を撃撃し三ケ中除に分 は密かられつゝある三角地帯 とつゝあり使等はパンフレットを 対解を前にして、彼等の行賊は出版がしぶよの肥がという。 は密かに彼等を思慕する秘熱にあ

讀者優待券(市外) 職者階上八十銭、階下六十段 職者階上八十銭、階下六十段

滿洲日報社

滿洲日報社

(H)

N

¥

0

全

發

聲

H

ジョージ・プロンデル

そ現代文化の上の最

上映時間

〇時

フット 年1.39

0,11

第二回

3,26

3,37

5.05

第三回

6.54

7.05

8,33

乱

表に替つてかゝる大機模のレビユウは企てもされながつた。 素葉、絢爛、肚絶、摩観、いかなる言葉でも表もがたい美の極致で 素に替つてかゝる大機模のレビユウは企てもされながつた。

七寶の柱」週間

七寶の柱」週間

讀者優待券(松風上)

るさ、奥まつた東の屋で、

七寶の柱』封切會

七日迄·每日三回·映樂館

めて、降いてゐた。

、事よりな話さ、心にさ

無視の中から、十八公暦は生れ

日活に入社加茂小林重四郎

「建設の人

K

映第一回作品

舊マキノの都賀靜子

後の親鸞聖人である。

だめし、一人の源家の味方が強いの御野子に、告げたらば、

枕べな、寒数なもんで伏し拜んでまれたがよい――こ、母性の君の

か、彼女は、見るかげもない心遇 たので、正しく相関の代敵義朝の がではあつたが、澄盛の眼には、 がなば、見るかげもない心遇

度を持してある同館の處女職繁館 のことさて一般音樂ファンより多 をはセロの名手レモン・ムットマン氏が特別出演することになって からが特別出演することになって

作「三つの真魂」な寒情すること

ルスターキャストで加藤武雄郎 さしてぬた戦流線監督は日満に入 が満田にあつて花柳ものを得意

を作詞清盛の憎悪そのものであつ が、その義朝: そは、 が、その義朝: そは、 が、その義朝: そは、

夢やもしれぬ、松は十八公で書

の要見こそ、西方源陀如来のごの要見こそ、西方源陀如本のご

수夜協和會館で

回演奏會

眞面目な若人の研究發表

日

盛況 とて経過

を示した。

街西部報 イドを進呈する

は果然大連の映樂館さ相呼應は果然大連の映樂館さ相呼應

御胎内にあつ

味のやうな男子であること。

第一の壁(十)

生れてゐなかつたかも知れない。

その前に、

はくくしてるて、すぐ、その方 線と、吉次の用似よりは、彼自 線と、吉次の用似よりは、彼自 「特徴介」
「特徴介」
さ、臓やらが呼ぶ。
さ、臓やらが呼ぶ。
での大、膨が下に含み時には、
ちさ、変して欲しい物がある故、
かちよってもらひたい――さ、か

映樂館·

えいぐり

で、吉次は、來たのであった。 吉欠は、本こう。 しびれた記む、少して

インして、特つてるた。 た、そつて、験で想象した。 を、そつて、験で想象した。 戦就家の職男、低島守裁線の息女 もいては、職家の正統、戦光所係 はした取象が今もふかい。 無品に をあるが、窓に、常純な賦人でお 本武弘艦戦争の十月第一週に堂々
「七饗の柱」の人類はその
や「七饗の柱」の人類はその
や「七饗の柱」の人類はその
で「七饗の柱」の人類はその
大

まへに、如意戦観世音のお夢をみ御信仰であつたせるか、御入陰の

大連附近の涨線より「七寳の柱」大連附近の涨線より「七寳の柱」 ので、映樂館では六、七兩日流線し、日本語の数に上るものさ見られると概
ので、映樂館では六、七兩日流線

れるか」「保討家職坂」の三大臣 「七寶の柱」を始め「喰ふか喰は れるか」「保討家職坂」の三大臣 にもなり、「でいる」の日より なるガイドを行ふべ 大連會館ダンスホール 「七覧の体 の多」は果然ダンス・ファン、映 で、入場者に進呈された新興キネで、入場者に進呈された新興キネで、一点記録師成響 日は七賞の柱でふみ子の大役が

七時よりの入場者先着順で百名に 起城子のサイン入プロマイドを進 関に「七號の柱ラッキー・デー」 のはラッキー・デー」

するこさになってゐる 日館にも本紙刷込み割引祭が通 大連會館ホール 七寶の柱のタ 今夜は「桂珠子デ

依然超好評 西部朝日館も觀賞會開催 優待割引券は共通 七寳の柱 えんげ

を持つて、

花 治

(10)

人容一段の充實を以て本 を流行の先驅をなす 特選高級吳服の大陳列會 只今開催中

ニ 九三一一二一二五一三一四三 六七〇五七五〇五〇〇七三七〇五

ソヴエート映畵の最高峰

K

頭

竟

团

一九一四年より一七年に至る約一年、即ち近代世界史の一頁である露西亞國民の心の動き。
・ で職は炸製し火炸製する。其中に描かれたる父と子、兄さ弟等のに描かれたる父と子、兄さ弟等のに開かれたる父と子、兄さ弟等の

ガインエス・フ

ボコントロ

置装聲發ンータスエウー界世

し無替入。行興續連回三夜書

共

作監脚

ボリス・パルネート

セルゲイ・ワシレンコ

發

聲

コンスタンチン・フイン

H

t

9

料

金

階

F

五

0

錢

階

Ŀ

七

O

開店 周年記念 十五日まで

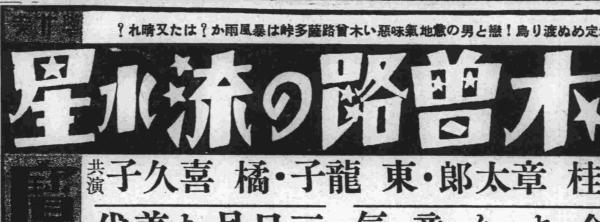
吸付 リ 菓 物子ッ 日烹

に特設・・・ 御買徳品、掘出し物を山積し謝恩大特竇場に溢れる大人氣 冬の御仕度は――幾久屋へ!又々新着品大追加致しました この盛況!この好評!

元帥米壽

東郷元帥彫像豫約募集
一、レリーフ彫像 室谷秀司氏護作プロンズ着色バスケッチ板ン金製條附 頭布質格 意煙 金七 週 布彫像は元帥生地鹿兒島縣人會のみ頃本の為め特製せるものな今回東郷展開御を記念して一般 に強約頭布 屠崎一草氏譜作

池田 小兒科門殿



金 枝月村河·郎文田島·子妙間久佐



茶紅ソトプ!



十月六日より十日まで (毎日畫夜三回連퓇興行・入れかえなじ) 品口活館 ニュース 第一回 第二回 第三回 () 時 〒は8,26 〒☆6,54 料金階上五十錢 同3.37 属7.05 0.11 フット後1.39 同5.05 同8.33









忍術一夜大名 其日歸 帝國館 其日歸

御持参のみ方に限り・小供十年連日滿員御禮の爲め左の優徒 畵 大人廿錢 一公開 カ 金

巡李博士 || 街

K 大連イワキ町 沣服

大連信濃町電話二二五一三番 多服嶄新柄豐富荷揃

小间物類與例如 灵 流行新柄第二回 着

六四

奥地の御註文は金州 新 山東連市 州 より發送致ます 商

電話8401番

しかし満鐵法との

は

成功

優劣はつけられぬ

徳山の液化

阿部博士歸任

る本邦輸出総布は全部一億六千九

吾妻驛の受託方法變り

通關日數が短縮す

送店ではよく連絡なさつて歌め

三百八十九月五千圓にして前月に

失なしさ

阻止運動入

米國に起る

神戸雨港よりの輸出は常態より上下、四百八十七萬圓餘の一整滅であった。これが原建はであった。これが原建はであった。これが原建は

海線音楽職では最近貨物の製送金 ・ 一十五、 一十五、 一十五、 一十五、 一十五、 一十五、 一十三百 町 (百二十三百 町 (百二十 一十 町) 見歌を示してゐるため、 昨今

を感じ從つて作業も

よる稿出不能の総布が多いので外「る理歴に鑑み、此の際邦品の海外」管式合同の一大通融層版を設置す、定定した、尙は組合では風水密に て邦説の郷出房選手殿を離けてる 所では四日有に既と協議した結果第二期に入つたが日本総糖物野地 は依然さして时盛を極めてゐるが の獲得を容易ならしむる爲め、寶繁二期に入つたが日本総糖物野地 は依然さして时盛を極めてゐるが の獲得を容易ならしむる爲め、寶繁二期に入つたが日本総糖物野地 は依然さして时盛を極めてゐるが の獲得を容易ならしむる爲め、寶繁二期に入つたが日本総糖物野地 は依然さして时盛を極めてゐるが の獲得を容易ならしむる爲め、寶繁一期に入ったが日本総糖物野地 は依然さして时盛を極めてゐるが の獲得を容易ならしむる爲め、寶素一人、日本智慧協会東京融工会議 「大阪四日登画通」野印総和韓出

第二

期に入る 對印綿布輸出

輸出貿

分易確保

幸促

B

未晒綿布積込め

で日本側も準備に着手

川島公使を満洲に派遣

田氏も赴任前滿洲國の實情視察に、沈も同公使は愈々九日東京籔のこれで、なほ新任伯國大使澤

州各地な視察の筈

白雲山麓に公設

市場

聖德街方面

0

發展で

洲國關稅改正

理事會を五日午りと「製事會を五日午り」とに新京において開かれることに

市これを諒さし善處を約した を開催の根本精神により未晒 は言葉者こして承服出來ない 八月二十日の中合せにより未晒 はこの際一部の未晒綿布積止め 性この際一部の未晒綿布積止め を高時間値の根本精神にあるにより をの問題ごして本會部で解決するやう額ひにいる をの問題ごして本會部で解決するやう額ひにいる事態の知る部分的解決をなるす。 をおいては言葉者こして本限出來ない なるす。 をおいては言葉者こして本限出來ない なるす。 をおいては言葉者こして本限出來ない なるす。 をいている。 をいている。 をいている。 をいている。 をいている。 をいている。 をいている。 をいている。 をいている。 をいる。 を

電点五日發回通」 満洲國は日海 たまなりは下具機能がような場合とに発展する整備をするため現地に適當な人物を派遣すべく といいのでは、大阪の関係がある。 こことなりは下具機的調査中だが B こことなりは下具機的調査中だが B こことなりは下具機的調査中だが B こことなりは下具機の重要がある。 滿洲海運關係の 損害だけで千二百萬圓

民の食料品供給には働めて不便でした家警集も従って人口も転増もしたって人口も転増もした。の方面には未だって公司を開始した。

れ、移動貨物激増により素晴らし、「京城特電五日孁」 郭鮮運送の本

全滿電業公司

來月下旬創立

法人國籍は特例を開かん

た。おの温度

歸任の

滕井局長談

電氣會社の評價をごの程度では対象が、又満人、邦の面倒な問題が介在してある。就中新設公司は法人國籍が介在してある。就中新設公司は法人國籍が介在してある。

界を見渡しても、こんな遊佐者

の事だが、恐らくは日本の工業で をである。 をである。 をである。 かった日本技術界の長老なこの がである。

日本に対したのコムミユニケを選出した。 本に対応したのコムミユニケを選出した。 本に対応したのコムミユニケを選出した。 本に対応したのコムミユニケを選出した。 一部であるが一部では、 本に対応したのコムミユニケを選出した。 一部であるが一部では、 本に対応したのコムミユニケを選出した。 一部であるが一部では、 本に対応したのコムミユニケを選出した。 一部であるが一部では、 一部では、 一では、 一で 來やう 回復する 大阪荷役能力

『大阪特電四日發』 野満輪出に密 器では総意調査研究中であつたが 器では総意調査研究中であつたが

め一掃した上、新灰受付を開始の一切の貨物を荷主に引取らしたすけてゐるが、災害整理のたたすけてゐるが、災害整理のため大損害のでは流失或は浸水のため大損害のない。

大通商機關を新設 を放ってもしのあるため、 を放地の四百時に整地の多ため、 を放地の四百時に整地の変形と沙沙口を を放地の四百時に整地を変さす。 を放地の四百時に整地を変がからながでした。 をなるため、で変形にあるため、で変形となり、 をなるため、で変形にあるため、で変形した。 をなるため、で変形であるため、で変形した。 をなるため、で変形である。 をなるため、で変形である。 をなるため、で変形である。 をなるため、で変形である。 をなるため、で変形である。 をなる。 をな。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をな。 をなる。 をな。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をなる。 をなる。 をな。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 を見られる公満電線事業/統談の後 に越き近く管理の速びに至るもの が現の速びに至るもの

既然であり消費市場の際液によつ 一部の二割程度を肥料さ気してある 多狭盛のため惜むらくは其の漁獲

食園民たる邦人移信者の増加されていたも振らすその需要を経く増大しつつある斯の如く需要が増大大しつつある斯の如く需要が増大

世級に日本における天産物中世界によって大里、昭和 まづ日本における天産物中世界にまつ日本における天産物中世界に

~~多いやうで少いものは人であ

空高 大 | 言葉| 引

是非

満洲に於ける水産物

需給狀況と貿易

漁獲高は貧弱、輸入は有望

の隆盛を語り得べく以て 国家經濟 ・ である、故に新宿婆市場所接し ・ である、故に新宿婆市場の ・ である、故に新宿婆市場の ・ である、故に ・ である。故に ・ である。故に ・ である。故に ・ である。故に ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ では ・ でると ・ でる ・ でると ・ でる ・ でると ・ でる ・ でる ・ でると ・ でる ・ でる ・ でると ・ でる ・ でる ・ でると ・ でる

大 場上重要なる地位を占めてゐる ないにも症れて外へ勘察加より外國に直輸せら 総他によつて外へ勘察加より外國輸出質 配して斯製 きに優に一億國に上り外國輸出質 配して斯製 でしたしまつ

場狭隘のため慌むらくは其の漁獲総れども現在食料品として消費市

大田 (大田) (本語・) (本語・

奉天票 (奉 天)

整形外科

加藤清郎 大連市三河町四 電話 6297番

手續完了後受託

個合な結成し且職合會設立方針

自要的に輸出統制の用意

輸出綿布

九月は減退

障を來ずやうなこと し話掛の角膜は気れ で、目下射質は三十 りを見せてゐるが狀

委員會初顏合

歌線塊 及為替 銀塊及為替 日 日

11

今射越屋商店

あす局長室で

倫敦銀塊 ヨ片(分) 同 朱物 ヨ片(分) 和育銀塊 ヨド人分五 武賀銀塊 ヨド人分五 武賀銀塊 ヨボム分五 エ賀銀塊 ヨボム分五 エガロハケー 英米は替 町が立仙八分一 英米は替 町が立仙八分一 英米は替 三ボルクカー

間に重つて石崎縣合會長司會のもい場所職合會は愈く明六日より二日を除る。 商議聯合 六日から 五日準 備會を開 開催 職并鑑問局長齢低を機さし 一門委覧會は六日午前十時より鑑 本名電氣房技師来開東際技師力 本名電氣房技師来開東際技師力 本名電氣房技師来開東際技師力 本名電氣房技師来開東際技師加藤 本名電氣房技師来開東際技師加藤 本名電氣房技師来開東際技師加藤 本名電氣房技師来開東際技師加藤 本名電氣房技師来開東際技師加藤 本名電氣房技師来開東際技師加藤 奉天省の

位値値値値値値値を受ける 11200 値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値値を受ける 11200 が 乗 新 11200 位値値を受ける 11200 1120

四萬七千平方ヤードの複波を示しが反映して前月より一千四百四十

・ 職領印度に對する輸出綿布の は3835

日 六日午前十時開會 取扱事務報告二、全職令會議師監正、 本質疾授三、 一日 六日午前十時開會 一、開會の辞二、來賓疾授三、 一、開會の辞二、來賓疾授三、 一、開會の辞二、來賓疾授三、 一、開會の辞二、來賓疾授三、 一、競事二、休憩二、泰爾令會 取扱事務報告五、全聯令會 取扱事務報告五、全聯令會 取扱事務報告五、全聯令會 取扱事務報告五、全聯令會 た全力を傾注 水田、棉花栽培

大学では、 ・ 水田擴張 建國以來諸般の建 ・ 水田擴張 建國以來諸般の建 ・ 水田擴張 建國以來諸般の建 ・ 東判明も、康德二年度中に水田 振張計畫に取りかゝるここにな ・ でが所要經費及び手綴は目下 ・ ででが所要經費及び手綴は目下

日 けき大豆は邦商及び と四綾乃至六銭方安三低落を 辿り三井二十、瓜谷十二車の 質が目立つ◆豆粕は開散に區 を保合、豆油は南支筋の投も のに軟調を早ら高粱は奥地筋 のに対するたるたるたるたるたるたるたるたるたるたるたるたるたるたるたるたるたるたる。 ◆定期前場(單位級) 等付 高值 安值 大引 新近 11元五 11元四 11元五 出來高 四百四十九萬國 ◆現物前場(單位級) 銀對金 銀對洋 金對洋 也 11元五 11元五 10元五 十時 11元五 11元五 10元五 10元五 10元五 10元五 十時 11元五 11元五 10元五 10元五

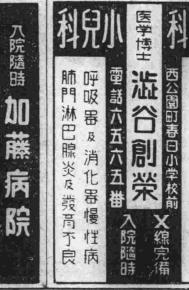
内地變らず

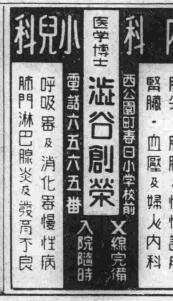
◆・・・満郷時間、 薬然性を捨て 変数性を が、本語表の斯 が、大語表の斯

地株保合 五品份 當期。場外

大大 福本 公司 古地で安価保全後上げる、園は北方筋一二五丁度見常質り、一二四二分の一まで引続き良く買ふ上海標金 等值 九二八元六 值 九二八元五 在值 九二二元五 安值 九二二元五 安值 九二二元五 安值 九二二元五

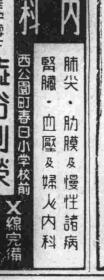
呼吸器及消化器! 電話六五六五番 西公園町春日小学校前 X 線完備







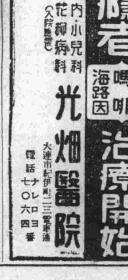












会 於 的 於 即 亦 海嗎呀因啡片 治療開始

標金は小幅浮動一般に銀對策懸念「上海五日養」倫敦銀安なるも時上海五日養」倫敦銀安なるも時

梶 田小兒科醫院

電長五四七二·バ五三四 大連市 慶右町・一

洋服類驚勢

展 月 横濱生糸 十一月 元前の 55000 十一月 元前の 55000 十一月 元前の 55000 十一月 元前の 55000 二 月 元前の 5550 三 月 元前の 5550 三 月 5500 5550

の 松尾商店 店面店

賞金 新東株金百圃也壹名機 門金 新東 株金百圃也壹名機 一日東京短期前場寄附値設何程? 「快定は大連、満日岡新四十一月 一日東京短期前場寄附値設何程? 「快定は大連、満日岡新四十一月 日時夕刊四回に掲載してあります 「保合関散を暑せるも▲安ければの

大阪棉花

大阪綿糸 月前場で前場引 1月 11140 11140 11月 11040 11040 月 11040 11040 月 11040 11040 月 11040 11040

英米

、軍縮會議に

政治問題

を上程

大體の

腹を定め

他然せしむべして主場するであら

き海軍會議議世中に政治問題なも

質性な言語を成め大國民の機関を 力するが、公式にも非公式にも無 で、公式にも非公式にも無 が、公式にも非公式にも無

就いた

後は交渉待ち

滿鐵の北鐵接收對策

市内金融には大連駅を来るもく低級と間に、その原因は一般酸を間に一般酸を間に一般酸を間に

深し物質は には日ソ常 の関係の

つのいっとで

では、東京五日養画通」満洲國外突部でする希望か有してたりそのに銀年館、第一次の一方の希望が有してたりそのに銀事館、教育に通事館、教育に通事館、教育に通事館、教育に通事館、教育に通事館、教育に通事館、教育に通事館、教育に通事館、教育に通事館、教育に通事館、教育に通事を設定している。

判任官三

氏も五日午前九時餐のはさでハル せられてなり、各方面に取くし極います。 満水氏のみは せいに静皎 す 、 満水氏のみは せの反響が現れつ、ある 即5一般住民の間にはソ聯領事のを実に立合することになって 値にバスボートの下附か請願する。字佐美理事は譲る

電五日襲』山西理事は

現の模様である

清津の三名譽館事設置な老清り官

山西滿鐵理

● はまましま。 の見透しがつかないので、いざさいふ場合に間談つかないだけの準備をしたのだ、従って今後 必要が起これば何時でも會議を 必要が起これば何時でも會議を でを進める必要はない、- との 開くが今のさころこれ以上に研 究を進める必要はない、- との では決して今急にやらなければな は決して今急にやらなければな は決して今急にやらなければな

陸軍

ツ

ト問題

議會で問題化すれば

季段

| 東京五日寮國通』米國代表部は

後大し政治問題な上程すべしさな

一様的な要素するなら政治問題の上

帝國政府は斷然反對

日本と

獨自

の立場を固

教

横大すべしさ提誘するであらうと 三五年の海軍水食器の議場範圍を 停突渉において米國代表部は一九

擴大の提唱 米の議題範圍

ロンドン外変界で

英外交界に衝動

東京特電五日發 アシントン来電によればアメリカ政府は来るべき海軍々総乗伸会談において日、英、米三國海軍力五、五、三の現行地やか敷持しては耐くまで大艦巨磁主義を固執するものと解れて日、英、米三國海軍力五、五、三の現行地やか敷持して總括天引を主張して帝國政府の平等概要いて日、英、米三國海軍力五、五、三の現行地やか敷持して總括天引を主張して帝國政府の平等概要にて日、英、米三國海軍力五、五、三の現行地やか敷持して總括天引を主張して帝國政府の平等概要によればアメリカ政府は来るべき海軍々総乗伸会談にお

りカ政府は飾くまで凝自の立場を励続しワシントン、ロンドン興奮誘奮時より一層な過な態度を示れる、日本代表が航空世艦襲撃、爆騰機能壁を追張すれば微水艦の登壁を要求して緊掠するなごアれる、日本代表が航空日艦襲撃

この程度まで英米官选にその意識に での程度まで英米官选にその意識に その意識に からるかい 日本政府

のワシントンからの報道はロンド ・あり、外務常局はが無いを認起しつ ・あり、外務常局はが無いを認しては来に何等公 もの、内容に願しては来に何等公 のが料が無いが、段下にへられる ・ないではないではないではない。 ・のが料が無いが、段下にのでは ・ないではないではないです。 ・のが料が無いが、段下にのでは ・ないではないではない。 ・のが料が無いが、段下にのは ・ないではないでは、 ・のが料が無いが、段下にのは ・ないでは、 ・のがは、 ・のが

『東京五日登回通』整備金融に改 本方針を懸後の一線さして代表部 本方針を懸めの一線さして代表部

に乘替へ

代表部を督勵

頁二十共刊夕朝

地看一十三町園公東市達大 社 報 日 洲 磷 耐索 所行費 〇六連大替振。號五三一奏查科 五八六西座都區橋京 京東 道 新 田 梅 區 北 阪大 地番五目丁一町牽騰 京新 地 番 七 町 吉 住 天豫

書

日滿技術の

協調を主張

いる大元老として重きななさ

突定する腔である、耐して球形が一定調査を急がしめてゐる 及主一測問の食期を以て脱く事に一麼止等の諸案かも提出する事に決 後十一月二十四、五日頃より五日 に闘する襲第、腮鬼腕特別時間の については不可能であつて大漢言。 深雲鉄鷹の外在浦 (球巻鵬の吹草

三省堂編輯所編

訂

、安協説はデマ

關東軍は與り知らぬ

故斯波忠三郎 厚な性質さ植像つてごんな場 しめた條件であった。

「技術の協調が出来れば日浦 經濟プロックは成立しません ・さいつた故男の言葉 放男の徳の力だつた

な思ひ出す。

た、側流

二筋會

在鄉警友會

如何なる場所にも携帯自在にため、質量を活用の條件である。 質量を活用の條件である。 携帯の鉄であり、質量を活用の條件である。 携帯の鉄であり、質量を活用の條件である。 携帯の要のでは、

いっぱきな大平になど要さられた人かも右の三拍子摘つた辭典は題無と云つで聞用に役立つ小辭典の出現

三方金・セルロイドカバー付続貢數千百六十頁・獨得優良紙使用機革装・金文字ス・活字鮮明機を受した。

定價 二圓八十錢(廢餅)

本辭典の特色は…

ト」の一語につきる

執行機關設置

近一發會

痛化の仕事は忙しくなる一方助かつたのだが、それからも 血で大手術なした時は幾度か で逝去した、昨年八月野職出 篇を傳へられたのを選よく 何かと発達したこさが死

にも震揚なさころがあり、温

◆…加賀百萬石の家老だつた。

文界では報ぜられる如

るにおいては我代表部は潔く引起 又會議の途中斯る問題が上程され では日本は之に節然参加せず、日

ふが如き態度な英米が執るにおい

が男なして日本の工

學界にお

東殿殿監局者間に安協業が成立したが保護により関東軍憲兵司令官の警察部長司令官の警察部長司令官の警察部長司令官の警察部長司令官の警察部長司令官の警察部長司令官の警察部長司令官の警察部長司令官の警察部長司令により関東軍憲兵司令官の警察部長の管理を表示した。第一からも問題は中央に於て決定さるべき事柄であるという。

のだ、マグネシウムやアルミニウムの企業化について動も ニウムの企業化について動も すれば満洲側の技術者と、日本側の技術者とが飛騰し勝ち ◆…技術者はごこでも自信

合でも

警官の動向慌し

長斯波忠三郎男が突然狭心症! はれてゐた滿刻癖間、滿化社! 心ったりしなかった

自由建艦期の到來を豫想

十年度豫算

計

なける。 技術家だ

は四日午後三時より大連署館職室によって組織されてゐる三時會で 關果州及沿線智學署動務各替部補

教行すべして主張するものさへ

大連市居住の元鵬果殿警察官と 一、大連市居住の元鵬果殿等を 一、大連市居住の元鵬果殿等を 一、大連在標準しからのありさなら、 大連在標準との変素及び動向は 大連在標準を全せて交託職制 ですべく三日午後現 ですべく三日午後五

日ソ開戦説で のといなり常住委員長に本郷の荒木ので、大り常住委員長に本郷の荒木のでいて今後如何ないなり常住委員長に本郷の荒木 を整部補が懲り同委員には就順署太 というでは、 を終部補が懲るここになり五時過

出席者は前郷子高家を開催した、おいて第一風有志会を開催した、時より大速市大山通速東ホテルに

改訂版定價一圓四十銭・売方金・セルロイドカ三方金・セルロイドカーの一様を表示を担けた分・左右ニオ・

ジェム英和辭典

改訂版 定價一票 總本義・本

園四十錢·送料二餘

ジェム和英辭典

幣に與へる打撃甚大 **対五日午後一時東京豪沙連の途に大凞理事は鎌第音定會談出船のた に名譽領事** 滿洲國外交部 星,浦競馬場 日(土) 日(日) 日(月) 元七八

東京特寬四日發圖果廳外任官 拓務省に陳情 五日午後四時二十分發列車及吉氏(大連商工會議所會

AMSELEOS GEMOICTIONARY REVISE

DOSGEN DE

GEM DICTIONARY ESTINGE

SANSHOOS CTILE INT OUT INTO

▲山田彦一氏(滿頭經濟調查會第 二部曠乱)同-新足へ 本大原萬于百氏(新京地方委員會 議長)同上辦任

▲三浦三郎氏(憲兵中佐奉天憲兵 ▲龜岡精二氏(銀路總局經理處長) 三省堂編輯所編 普及定價提供 圖書目錄進士

英語學習に資する所を最大ならしめた。破 格の 普及特 價提供! ぜほど左標に譯語は懸切。正確であり、例文に富み、熟語・誘語の類を「中學――受験――高・專を結ぶ英和」――これがセンチュリーであ

五五五一三京東蕃振。一町保神區用神市京東 〇〇三一八阪人蕃振。通下座波阿區西市阪大

三省堂編輯所編



は近く関連解決を見るものと職信れば、同地方では北郷護波再交渉

北鐵讓渡

このパンフレットの内容を如何に

陸相が答辯に當る

を述べ各職係もこれを譲さしたの徹底せしむる考へであるさの決意

各方面の反響

クヅネツオフ氏東京へ

(-)

山陽ホテル前の米國記者圏

林陸相語る

シフレットを製表するに至ったかけて説明の低に微り歴史が何故バ での問題が 歴れば自分が 至部引受験が機械がこの問題につき戦時齢

『東京四日登画通』臨時職会活集 は十月末姿に防止の為め十一月報例な可 さする旨な職田前根に楽宗教等の緊急 でする旨な職田前根に楽宗教等の緊急 でする旨な職田前根に楽宗教等の緊急 は十月末姿に関係されている。 は十月末姿に対している。 は十月末姿に対している。 は十月末姿に対している。 は一月報のいる。 は一月報のい。 は一月報のいる。 は一日報のいる。 は一日報のいる。 は一日報のいる。 は一日報のい。 は一日報のいる。 は一日報のいる。 は一日報のいる。 は一日報のいる。 は一日報のの。 は一日報のの。 は一日報のの。 は一日報のの。 は一日報のの。 は一日報の。 は一日報の。 は一日報の。 は一日報のの。 は一日報の。

臨時議會 一月下 旬頃

ないさいふ場合の外は文官で行 場に就ては未た話はないが各閣 類に就ては未た話はないが各閣 をの個人的意見では十一月末開 かれるのでないかさ思ふ 春川部長歸連

新了

関集 全能な跡の聴憶をなす筈であるが、 はさくさ考慮する旨を述べ午後歌 時半三氏は電販な都した、なほ三 時半三氏は電販な都した、なほ三 のであるが、 はさくさ考慮する旨を述べ午後歌 であるが、 はさくさ考慮する旨を述べ午後歌 であるが、 はさくさ考慮する旨を述べ午後歌 艦繋を擁うて自ら 數理の問題である 車々縮は明確な

きだ▲現行修線に は靴どて挑繋すべ の非違を強行せん

三省堂編輯所編

コンサイス英和新辞典

個 二円五十銭・送料六銭 対サイス型・革装・一〇〇〇貝 欝典たらしめた。

サイス型・草炭・送料六銭

和英辞典

ないが、その討伐工作に就て る使骨じみた行跡のあらう答 が過現時の少數浮浪の徒に、

大連市政擴充に

陳情委員上京

七日出帆の扶桑丸で

州知海は駐崙全権の指揮監督下さすること

世間では呼賊問題を頗る簡

を 任滿煙機能呼吸と手指統一際に市 ては新泉より其の像深路を向下て 後横が間壁の真能遅進の係め上京 内地へ同ひ東京において右一行され にない窓路氏は七日出戦の挟撃丸で内地 され、本年九月十二日市勝会監督で要表 小川大連市最は四日午後四時二十 探用された大連市球撮充委覧會で要表 小川大連市最は四日午後四時二十 探用された大連市球撮充委覧會で要表 小川大連市最は四日午後四時二十 探用された大連市球撮充委覧會で要表 小川大連市最は四日午後四時二十 探用された大連市球撮充委覧會で要表 か川大連市最は四日午後四時二十 探用された大連市球撮充委覧會で要表 か川大連市最は四日午後四時二十 探用された大連市球撮充委覧會で要表 か川大連市最は四日午後四時二十 探用された大連市球撮充委覧會で要表 か川大連市最は四日午後四時二十 探用された大連市球撮充委覧會で要表 か川大連市最は四日午後四時二十 探用された大連市球撮充電影響を加入なほ

京の模様であるが同一中前総験された大 連市会議機械川、熊谷、田中、高 連市会議機械川、熊谷、田中、高 本川大連市最は四日午前総験された大 分数が顕泉起館であるが同一行に先だち 大田出観の意味を避べたが直に 七日出観の意味を避べたが直に 七日出観の意味を避べたが直に 七日出観の意味を遊べ長館の 本日出観の意味を遊べ長館の 本日出観の意味を遊べ長館の 本日出観の意味を遊べ長館の 本日出観の意味を遊べ長館の 本日に表するが同一行に先だち は日出観の意味を遊べ長館の 本日出観の意味を遊べ長館の 本日に表するが同一行に先だち は日出観の意味を遊べ長館の 本日に表するが同一行に先だち は日出観の意味を遊べ長館の 本日に表するが同一行に先だち 本日に表するが同一行に表する。 本日に表するが同一行に表する。 本日に表するが同一行に表する。 本日に表するが同一行に表する。 本日に表するが同一行に表する。 本日に表するが同一行に表する。 本日に表するが同一行に表する。 本日に表するが同一行に表する。 本日に表する。 本日に表するが同一行に表する。 本日に表する。 本日に表する

大連民政署を破し其の所管事務の一部は関東州離に、一部は を加入で連市に移管する事 一、市の區域を擴張し、周水子、 海猫屯、西山、蟆家屯、小平島 領面及び老虎顳の各會は之を市 に編入すること 一、大連民政署の所管事務中大連 市に移管すべきもの左の如し 市に移管すべきるの左の如し 市に移管すべきるの左の如し の経證明、社會事業を形式、殖産 即経證明、社會事業を所で の展域を指述し、周水子、

能はざるの徒である。隨つてそて、歸願安息の境地を求むる

彼等は巧みに各處に出

た。殊に軍隊不斷の活動に依つける永續的地方行政事項さなつ

にその間に或る新緑斑があるや 工作が必要になつた時代だ。特が、併し段々境界を撤した綜合

☆大連中央電話版へ申上げたい、近日伏見楽電話分展完成で地に近日伏見楽電話分展完成で地に

更に一歩進め

って、従来の零を記る

1000

◆以上の次第

に適當の香酸改正

時間不勵行

電話番號

南滿匪賊と

說

十名の小學兒童であつたがけ、 從來この種の暴行中比類稀れな 極々拉致者の奮選される模様な 機構問

軍にも相當の責任

題の禍根

◆就ては従来沙河山分局に脱する る番鰈に獣しては、加入者同に お継多く、皆一様に之ル螺ぶし で居る、その理由は

通番號より數段の安値な唱へ一 難に因り電話譲渡において警 が、斯の如き忌避と不便等の非

様き場合は、では、

れても客を避する

臨時議會を前に滿洲事情聽取

##する山道裏一氏語る

が、その後の秘熱は悉く中央の見 が、その後の秘熱は悉く中央の見 が、その後の秘熱は悉く中央の見

し神枝塊は泥塗

強れさなり軽傷を負

| 一氏は五日午前六時十分足蜒より リ夫々滿州事情を聴取の上、直に前田警察署域、富田憲兵隊長等よ 富田憲兵隊長等よ 【安東電話】國民同盟總務山道養 餘裕なく、安東

要だ、陸軍バンフレット問題も はあより問題でないでもないがこれ も重要な質問事項だ、たゞ内容 はあより問題でないやうに聞い てゐまが早く歸つてこれも調べ てゐまが早く歸つてこれも調べ

ては色々繁晴もあります。 に置くべしさの意見もあつたが 通信交通その他諸機関の関係から 地形の上から片寄つてはぬる が中心都市さして安東が指定き れた器だ、満洲の入口であり一の貿易港さして相當經濟的に重要である上に政治の地方的中心 さく後益々その發展を遂げるで とう後益々その發展を遂げるで とう後益々その数の治安は一番心 さことのほかがき かられるのだが音 かられるのだが音 かられるのだか音 かられるのだか音 かられるのだか音 かっちょう

之から 化粧品

の賣行 本格的

十八錢也

一百八圓四

る間に着々軍備や充箕し態度極いてぬけ中央軍が別匪に手を焼いてぬ

大連に於けるや糠配の實行はこれ からが態々本検解されるのだが、 本年は春以來解來配の實行が増加 して約三十分を記して由移、コンパ のである。 が論

三百圓

義捐金芳名 近畿風水害

(十月四日正午迄の分)

五全體會議

延期
設
擡頭す

右の駅際において十一月十二日尚 おに乗り金融をからないである之等に背後 れた中央が金融を召集するもそのれた中央が金融を召集するもその

材料到着減る

電際されたもの

産會社大速支店, 一同 百五十圓 同数業員有志

阿部里兵衛外

に比し二割見驚増加してゐる模様よく、各間屋筋の仕入計量に昨年

おい、殊に滿支上 れ、殊に滿支上

ふのである

の山窩草賊の如く、一種無頼の

脳四の 風害のために開か は無車通過するだらうが機構改 れるものと非常に期待されてゐるれるやうになつたが今度の微算 道治下説に理想の樂土な樂き得ら 間下口の 風害のために開か れ等の困難も機本より除去され王 つたが、今回の扁鰻吃師によりこったが、今回の扁鰻吃師によりこったが、今回の扁鰻吃師上幾多の困難わ 日から城内歌西版店を管球がに充って管務を開始することになつた、 東京で東京の東京の歌西版店を管球がに充った。 テルで執務するが、日滿官吏三五

【納州特電四日報】新に設置され 新省公署を迎 慈光普し

遊覽地吉林の

建設を期し着々實行

千元以上のもの千元以下のもの

日本帝

造裝徽盛花 飾 花品章花環

E.

花環店

細內容見本進呈

二二〇六〇番 ひれ

北

商品の北浦収路

日前のま

五百圓

一則 同シー・サラエフー則 一千八百十四側三十銭也十九 圓 五十銭也十九 圓 五十銭也

東安祝福する

学校生徒一同的未芳太郎

東邊道の長方形をなず地形に對 『安東電話』安東管話。 安東設置について第四安東駅参手 安東設置について第四安東駅参手

南宮緑館神和郷

克山脈地に出場

・市をして新に戸籍に開する事 務な管撃せらむること 他市税な賦除徴収すること 他市税な賦除徴収すること であり、政体及び之れに附 でも其の後の維持管理(補作、 行も其の後の維持管理(補作、 行も其の後の維持管理(補作、 行も其の後の維持管理(補作、 行も其の後の維持管理(補作、 行も其の後の維持管理(補作、 行も其の後の維持管理(補作、 行も其の後の維持管理(補作、 行も其の後の維持管理(補作、 行も其の後の維持管理(補作、 りに移り、なほ十日熊通の新古園道で、郷原、郷原町方町では東接の上、これに北山公園の美地、新京郷路局の移転、その他大同一洋灰、郷原町方町では東接の造出、大阪町に北山公園の美地、郷原、郷原町方町では東接の造町、その他大同 等さ相像のて過去さ概さる先には大いに期待されてゐる折頼吉椒の今後の要派を されてゐる折頼吉椒の今後の要派 されてゐる折頼吉椒の今後の要派 滿州里に不時着陸したソ職飛行機 張及び紹介に積極的に乗り地な中心とする日本商品の さになった 不時着

百 国 同大連第一中學 校生徒一同 同满洲銀行有志 八十三國 同滿洲銀行有志

十国 同大連機械製作所聯雇員十四 大連市大連水上所組合 大連市大連水上所組合 一門區

排日歇まず ゾナの 飲むに 中の先際で地上 に引旋された、 寄附者 村上氏表彰金 芳名

アリ

二十圓 大連 大連版 ハルビ 五十錢 日夕迄の分) 古河電氣工業株

大連朝日小學校 新京織路局工務處

三三三值七二八段 兄 表言言数

Joy of the Tasto

4

さ

10

尼

NA

荷

界各國酒類

食料品

二、八〇

6

化粧螺詰 0

大・中・小

宅

O

大連伊

本各地名産

较

店電五林





鈔票續落



原

契約高多少二不拘御重話次等係員参上御相該申上ます 火災·滅上·運送·自動車 三井物産株式會社 險

振替順京七二C八二番 る本講義録の必讀と向上の当針!既に技 I

術家希望の土の型色して

中 前駅城京トンテ西中

商店 休業

周水子滿洲船紡會社、交

同秋田商會不材會 同南滿洲與業會社 同信濃町市場組合

特

本生条(単位十段) 元の 一月 発息 現元 記の 二月 発息 現元 記の 二月 発息 現元

株式申込取扱場所 を 天火 廣場 ・ 京市西面高田町 川崎第百銀行 大阪支店 ・ 京市西面高田町 川崎第百銀行 日比谷支店 ・ 東京市独町協内山下町 川崎第百銀行 日比谷支店 ・ 東京市西面高田町 川崎第百銀行 日比谷支店 ・ 大阪市東高高雅倫三丁目 川崎第百銀行 大阪支店

味商駅を早む、豆粕は開散保合、土後場の定期は大豆は材料區々に不一般 無 味

皇姑屯○幸天局私書團第二四二章 株式 會計 年十一月一日

式株新資增社會式株織

新豆 東

* 明中寄 當 服 先 服 是位十段 二二二 二二二 二二二

1111

9

市況後場立

新東日産低落

優先熊纂権の一部を割置するの承諾が得て一般公募に附する

郭記優光株式(年八朱優先配常付)の内特に東地及青機に請ひ

良民のおいぞうどて振動

歌に属されて耶豚の塩(世)と対に 「大石橋」 古治地版の山底地なると海域 「大石橋」 古治地版の山底地なると海域 「大石橋」 古治地版の地域を成地

の 内容光質整備さる、に性のその版 力に匹配し得す戦も終た浴むるに 野り、海域駅においてに管内各區 発展整体指導管藤田金之氏は同行 一番、上ででは、海峡駅においてに管内各區 の 内容光質整備を立れたるさ共に響 の の 内容光質整備を の の あ

賊廿六名を斃す

風早部隊の討匪戦

時間の激戰で

で嬉し脚で誑った

匪賊の影も消えて

る、三日夢びな搬へて輸公署に尹 野心で嫁るこ云ふ亂の樂土振りを

際長を訪へば

かほごの辛酸を經た事か、是れったは高度の打破に或は訓練にいては高度の打破に或は訓練にいては可能の言がを語り合ふ迄

秋の收穫期を追ふ

海城縣下眞の樂土化

出し特に新義州に於てと野郊ある 郷整の世的で支那人勢勝者の入國 が歌の世的で支那人勢勝者の入國

何等かの方法に出てんさして考究。

三百三十五萬喇採捌に對と特殊 「大十五パーセント約二百二十萬 「中国の統一と向上にはかれて研 でされてぬたが炭礦側ではいよ くこれが解決策さしてレオラ において使用されてゐる中塊炭 において使用されてゐる中塊炭 「選灰器一臺並カーベンタード

実解決されるに受味物

(可認物便郵稱三郊)

品質向

間における花炭森部間壁がことに質新網における花炭森部間壁がことに 減少による輸送運賃の減收並に販売の設置により減炭重数の

の朝鮮内

語る 員會な設置目下着々ご準備を進 めついあり明年三月までには竣 めついあり明年三月までには竣 といる第で、これが完成の曉 は粉炭の品質向上統一による單 個の値上りで一ケ年約八十萬圖 の収入増加か見るご共に従来畿 多の古城子粉炭に對する炭質苦 情がこいに一切解消されること になつた でそれによる線道収入減その他出により約十五萬噸の重量減少出により約十五萬噸の重量減少

萬國の増収さなるのである、カー 萬國の増収さなるのである、カー 萬國等を控除しても向かつ五十 東入培加が一ケ年約八十萬國さ 東入培加が一ケ年約八十萬國さ 東入培加が一ケ年約八十萬國さ 東入培加が一ケ年約八十萬國さ 東入培加が一ケ年約八十萬國さ 東入培加が一ケ年的八十萬國さ 東入培加が一大年的八十萬國さ 東入培加が一大年的八十萬國さ 東入培加が一大年的八十萬國さ

に相當デリケートな問題があつに相當デリケートな問題があっては従來すバーセントの 灰分六千百カロリー アカ六パーセントに も六千七百

折角 大連まで石炭は輸送

【大石橋】

大花橋帯年訓練所の創

青訓激勵會

を擦除の静を述べ午後九時散會 を擦び火鍋子を以つて饗廳食職突 を擦び火鍋子を以つて饗廳食職突

現地に於て除幕式を舉行すること

等八名が悲��の最期を遂げた全回等八名が悲��の最期を遂げた全回

電響順店」事職店居住民会に機構 したが抗務電ー行及職業多襲際電 したが抗務電ー行及職業多襲際電 であった雪日年後六時より小學 機構問題の經過を省みて(鈴木 優雄、関連に就て(一段の知し 機構問題の經過を省みて(鈴木 優雄、関連に就て(一般所) 満洲の經濟に就て(大の時間 満洲の經濟に就て(一般所) 満洲の經濟に就で(一個人所) 流光で、大田) 大東び一人で、大田) 高川の経過を省みて(一般所) 一人東欧立って(全所時間) 一人東欧立って(全所時間) 一人東欧立って(全人の時間) 一人東欧立って(全人の時間) 一人東欧立って(全人の時間) 一人東欧立って(全人の時間) 一人東欧立って(一般所) 一人東欧の勢害(春宣次郎) 武治機構に就て(後本 後本)

田、屋腰各指導散、川口、秋友剛・午後六時より芦田主事、小堺、前

制限撤廢決定

見せ金制度も廢止

動力 中であつたが、元來滿洲人で中國 其の入総の自由を認める事さなつ 大國 人の國籍不明確のため區別つきが た、之れは十月五日より實施ら称で、一般 ではて中國人のために滿人に對し 見せ金百側を依依さらない事さな で、とれば十月五日より實施を修改する事態である。 まればならのし其の總に沿つて進さるて、海峡に発して、海峡に発して、海峡に沿って進さるの資證を得れて流人でして かついある

寺に値けてあるさいふ でであるため更に願は 関いたたころ遺骨は崩 がらダイナマイト自殺 がのがらが、現在中村は がのがらが、現在中村は がのがのが、現在中村は がのがのが、現在中村は がのがのが、現在中村は がのがのが、現在中村は がのがのが、現在中村は がのがのが、現在中村は

奉天居留民會

場は治まり、城門理の激勵緊緩膨緩にも上官の際止に手を止め其の

本溪湖戰鬪卅周年

三日盛大な記念式

至市民参加して擧行

居らず、同人は九月廿一日瀬生町 がり、書類は奉天器に移歴されて 来た遺骨をめぐつての行方不明線

阿片零賣所が

各

大同團結する

けふ發會式を擧行

旅順選手推戴 レル

ら小西門神日升標で寒雪式を擬行物紙合に加入、六日午前十一時か都に加入、六日午前十一時か

離親善同志會

刑場の露ご消ゆ 麗なる女匪首 ~王鳳岐に死刑執行

佐美、脇灰、 正真倶樂部に参集して一宮線局から降田、中一宮線局から降田、中

も 古藤田指導官以下中平、除井 地島指導官等の献 身的貢献の賜 です、私は現在の此の状態を昔の 軍閥治下の状態に比べて沈思默 考もまで時この通り何んさも云 への感にの涙を止める事が出來 あった八寫真は記念寫真)

附近において八十名の脈腋と遊遇。 聯三十分伊巴丹東方二邦里花達吧。 り画に急行、敵は脚踏を利用し鍛 の既認識のため二日午前二時件。め次いて満戦齢兵第三艘の一部が る興賊認識のため二日午前二時件。め次いて満戦齢兵第三艘の一部が の大いて満戦時長第三艘の一部が 中原を馳驅し

手により部下十一名と栽に推しれ、りの嫉命だけに死の電告を聞かされ、まる八月十五日複各討俊隊の 燃外減場の驚き着えた、滅石男際れ、まる八月十五日複各討俊隊の 燃外減場の驚き着えた、滅石男際の大胆電子原政にし 高深の秩が誘。受け去る二十七日午後三時北安鎮で肥下三百名か叱咤して高深の救が誘。受け去る二十七日午後三時北安鎮では下三百名が叱咤して、高いスカカラ系有一の一室で要電取職中のさころその 、燃ゆるが如き紙幣の一些で製電成職中のさころその自身に鞭うつて江省の身まなつて以来、龍崎駅開発際

撫順炭礦當局で研究の結果 各方面の苦情も解消 入國 ーベンタードライヤー機の は私が洋行中に一楽購入して來 たのかもつて爾米過去五ケ年間 に亘り露天振において實際試験 の結果更に二筆を増設すること になったが、これにより最も雄 になったが、これにより最も雄 なそ期の石炭、凍結が全く解消 るそ期の石炭、凍結が全く解消 施らで露地では始めての催しさては極好の際天であり突然の催しには極好の際天であり突然の催した。 折よく當日 十分發列車で朝陽に向け出號した山まテルに一泊し三日午前七時四 質問に係属は汗ダクになつて説明日満酸人殺戮も配置値段等熱心な 收めて同四時閉會したが一行は率 るさ云小盛況さ、多大の成果な 高利を貪る 八を相手に 邦人惡高利貸露かる

おいて 徴々

撫順の義捐金 關西風害地に

拉致さ

n

恶辣極まる

モグ

リ賴母子講

れるや野然で散笑し、刑場に向は

更に嚴重に取締る

児童歸る

子も見込んで元金より多い金額を は 一時の網環を変ぐもの多く営 かに一時の網環を変ぐもの多く営 かに一時の網環を変ぐもの多く営 村 するや趣に直ちに移り込み作用が 関連した要素するも言か左右に し 明 引渡した要素するも言か左右に し に調べて後題の契約書を理由に こ 一 要を認めすさして取合のの配なし取調べる必要を認めすさして取合の配なし取調べる必要を認めずさして取合のの配なし取調べる必要を認めずさして取合の配なし取調べる必要を認めずさして取合の配なし取調べる必要を認めずさして取合の配なし取調べる必要を認めずさして取合の配なし取調べる必要を認めずさして取合の配なし取調べる必要を表して取られて取らない。 自分で建てた家に住めないで き、資金を受け取り八月中旬幾二れは假契線であるさ機と伴用を駅 契約はあつてよ八百圓の金か出し

が頻繁にあり保安でも脱重取締る無許可職世子に對してはかいる事

五十日捕れ

の旅

普蘭店第二回

市民大會

日向調査員歸る

四日午後奉天に歸着

宙に迷る

兄の遺骨

電大(1g) 大(1g) 大(1

六年間探しあぐねた純情の弟も

遂にまき込まれた行方不明劇

このき捜査した結果、 の影行方法につき打合せの結果左

性 大(一)氏は天月二十八日順手を た かがに一生を得、四日午後一時 全 九がに一生を得、四日午後一時 中華天に帰籍した(宮真は熊手を) 脱出したベスト調 査 員 日 向何夫

浮かば

れ

ぬ亡者

これは滿人に 一邦人の訴へ

邦品遼西に紹介

から大連署を通じ行方捜査中、本たの長兄金太郎は昭和四年越の失めの長兄金太郎は昭和四年越の失 死亡国 が出さな無職 も金太郎は昨年十月八日朝総蔚山籍謄本を取寄せたこころ、意外に 籍地の東京本所區より戸

はり抹賞されてゐる事を登見、早のもさに属けんさらた。 東人不明にて返送されて來た 勝夫は「警察の手で中村を搜査 二十二に無属にて返去 して下さい、さうすれば兄の死 特り、書類は奉天響に んだ事情も判り、その遺骨の處 來た遺情をめぐつての が続けを対する。 でできない、さうすれば兄の死 特り、書類は奉天響に して下さい、さうすれば兄の死 特り、書類は奉天響に して下さい、さうすれば兄の死 特り、書類は奉天響に とて下さい、さうすれば兄の死 がり、書類は本天響に とて下さい、さうすれば兄の死 がり、書類は本天響に とて下さい、さうすれば兄の死 がり、書類は本天響に とて下さい、さうすれば兄の死 がり、書類は本天響に とて下さい、さうすれば兄の死 がり、書類は本天響に とて下さい。さうすれば兄の死 があげられてゐる のもさに属けんさしたさころのもさに属けんさしたさころ よ勝夫が西塔には

一十六日(知歌社員並前線同僚社員感謝日)午前八時半より神社日(克己デー)徒歩、禁酒十七日(克己デー)徒歩、禁酒十七日(克己デー)徒歩、禁酒十七日(克己デー)徒歩、禁酒十七日(克己デー)徒歩、禁酒を開行、之で得た金は公共事業に寄附すること。 、午前五時から八殿守、徒歩日、早

▲二十日 活動寫眞、午後七時か 5春日桜でオーケストラ、琵琶 上で一同人場、開會、修被、國 社で一同人場、開會、修被、國 大日本帝國、滿總會社、 養職社具會萬降下、會長 大日本帝國、滿總會社、

精神作興週間

奉天の諸催し

實行方法等を決定

式8880mm

原高女第十七回陸上運動會六 天城軍東分會射撃大會 前九時向校庭で 前九時の多蘇家屯で 前九時の多蘇家屯で

車掌服着用

奉天バスの改善

無代選是本

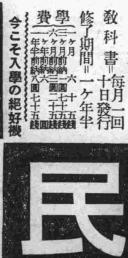
京業學

444

| 「東大の際が東邊遊方配出動・とは、 「京中 長の際が東邊遊方配出動・必要にれた。 「京中 長の際が東邊遊方配出動・必要にないた。 「京中 長の際が東邊遊方配出動・必要にないた。 「京中 長の際が東邊遊方配出動・必要にないた。 「京中 長の下はいて運転手に応ななら事が、 「京中 長の下はいて運転手に応なる。」 「京中 長の下はいて運転手に応なる。」 「京中 長の下は、「大学のが呼ばなない。」 「京中 長の下は、「大学のかにおいて運転手に応なる。」 「京中 長の下は、「大学のかにおいて運転手に応なる。」 「京中 長の下において運転手に応なる。」 「京中 長の下において運転手に応なる。」 「京中 長の下において運転手に応なる。」 「京中 長の下において運転手に応なる。」 「京中 長の下において運転手に応なる。」 「京本での件 「「京本での件」」 「京本での件」「「京本での件」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」」「大学」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」」「「大学」」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」「「大学」」」「「大学」」」「大学」」」「「大学」」」「大学」」「大学」」「「大学」」」「大学」」「「大学」」」「大学」」「「大学」」」「大学」」「「大学」」」「大学」」」「「大学」」「大学」」「「大 「春天」四日午前八時職当バスス選手なり、運転手に違れ、選手に立って下海大阪に随ふ途中大西門神にて下するや今度は運転手に石を投げつするや今度は運転手に石を投げったり、運転手は遊転を設った時間ででで下海がある折、通いもり立ちに高いまり、運転手に石を投げった。 配着立廻りこれである折、通い中の裏が長工廠より十数はないまするを持ての出場によりいき可なが、通い中の裏が長工廠より十数であるが、通いを引きた。 •







手の立廻り



大字類科 見本を見よ 発揮は大工業學廳に兼ねて工 土木科·建築科 化學科·冶金科 改械科·電氣科

片門鹿奧岡岡大小橋濱林池今磯岩井 岡野岛 総谷澤畑本田 尼岡村崎上 護精主忠徳本志三 安方純豊 清五 之之

家に恢よい感じを乗へることにな 気得する響で之により現在の如き 形れ服の重繁さんが搔き神され楽 でも服の重繁さんが搔き神され楽

て市民会を經由現地に送附す 【大石橋】去る九月二十一日突如 大石橋も募集

は、の後別の概念でも野けて常に、の後別の概念でも野けて常に、の後別の概念でも野けて常に

近の確等も時々無管中に迷入して 助き、ボダン、小花、南京豆、水

ることは腫々使人の經職せらる、断うしたものが気で、大時時にして鬱重な生命が考けれ、側近者か繋かする

職像から無管に迷人となくさも、 メダル、春花等は帯びに大きさの

係壇次回課題

根管理由の有る事です。見意、職能作故上よりは残論経験上から

を激起するこさの

たかけたり、

ら漁箱の税末を練の実践に少

に具玩の供子

等を認に際慢せしめたり要記せし を験ばないのですが、原意、乳乳 のですが、原意、乳乳

水価等を施下さらめて異物を保険 大塊な城下させ、又幸郷、生卵子り、戦かく煮た脚総繁、覚職等の

にも胃に寒き落すことが出來てい

つて食事は糖かに、音楽少なに

引動けたり、又正月の維添能な食 上述の如き食道果物は子供に限つ た物でなく、老人が義留な食道に 関うない。

ものであるさ

めたり、又は気流せらめると無常

界意。乳児等が以上の如きものた

生命を続けれるのです。

果し、不幸な時には数分時では首か締め殺すのと同様な解釈な

物を吐出し

食道を掘ることができず、

法さして食道美物が小さい時に腹折く。斯くの如き場合には家庭療

地圖圖書館 アメリカの

般に秋から冬にかけ

くなるさ

植木の築養を深します、土

かられなくなり、珠に満洲では、その風が著しかつたのですが、その風が著しかつたのですが、ラリで懸つて日本古来の音樂をふり。 歌川 事懸以来この氣分がガラリ でいこさです。 私たちは日本人で

邦樂部は上野のそれでは全く別思ふのです。その意味で當校の

院展から問題作

を拾ふ(し

横山大觀作

御履物は

皆様の

行星

服

は

*

電

大趣市浪速町

たら遊屋に満水し、たさひて活着が極難です、植替へ

すさヒゲ根ない

などで枝の伸び過ぎたり、枯れか難で包んでやると安全です、膨木

・・・・・ 産 権の樹木やパラなご

大連音樂學校に

邦樂部開設

家庭に於る日本樂趣味助長

ひたるなどは、唯人を斬る為にのみ贈ったのではありません、要は日本刀に懸かる意氣を魄であることを深く信するものでもりとする。

概な低地の繁富に関り、これを総 ・実かとむ大和魂の愛鸞に感激し ・異かとむ大和魂の愛鸞に感激し ・異かとむ大和魂の愛鸞に感激し

直ぐ送れ」を影射なる無

りしたのも家へ入れる前に機替へれたり、或は縁が小さくなつた

鮑な人れてやること

いしてゐるのは今のうちに

なつてながおくやうになったら家

すさかしないと凍らせては取かへ しがつきません、さいつてスト

何より

自然のあたとまりが第一て来ます(高谷関熱商會主談)ぎては機物を響します。から様に霧をいいてやるさ流々しラデエーターの上などあしたら毎日二回ぐらる驚吹きて乗

上なざあ

唯葉がひごく乾燥するや

しくありません、乾燥するからさしくありません、乾燥するからさいて四部に圏水すると、実験に かりが乾いて四部は何時もジクジクしてゐる為に根から窓つてしまからなって見て乾燥してゐたら水かやること、大概幸花なら毎日一回、

▼…夏 労に先づ水さへ切ら

機房の季節に一て、鉢があた



だの社交服だのさ鑑打つた難やお嬢様方の社交用さして訪問服役がありました。近年我庭の際じがありました。近年我庭の際じがありました。近年

でさるく異つた自由な意匠が要るやうになつて、鬼際にも今ま

◆…熟戦はさうした要求によって さはしい新戦時の地帯です。右 さはしい新戦時の地帯です。右 ▼…熟戦はさうした。 せて更紗風の模様な出したもの地にアップリケビフランス刺繍 の、左に淡緑色のゴブラ

れてはなられて御殿の趣はされた。常に観無に因り大和心を認かせ 御歌に関せられたる如く世の風潮にさは戦し上ぐる盗もありませんが に對し泰り、一家 感じ居る次策であります。技に於 率りが時も忘れてはなられて切に 率りむけられていた御心に黙しる通り、吾々はこの大御心に黙し の一家一刀記義を唱へ

南ぐ送れ」と悲飛なる情報が微時 事態の懸突艦たる萬寶山事代が郷 水合製館の発突艦たる萬寶山事代が郷 ストルはもの、役に立たの日本刀 で送れ」と悲飛なる情報が微時

青年學習書 社會教育協會では、 から刊行

社會教育協會

等機計四十種に分されてゐる。 等機計四十種に分されてゐる、演 別の種類等もドラマ、喜劇、科 別の種類等もドラマ、喜劇、科 製の種類等もドラマ、喜劇、科 製の種類等もドラマ、喜劇、科 の種類等もドラマ、喜劇、科

電影を持つて重要され をされており、情それ がそれ できれており、情それ は高楽の歌に秀でては宮 日 時代の刀工部派技術の優劣、現味 これを懸碌の上に観察する時は、 であります。

刀研きなわずれそ大和心を。

が裸ら貫

大當り成功

談會

打ちませて一塊の座壁にして 又傷寒の質刀かその傷匿感深くる際を続うすることがあります 遺蹊に野し海に御粗末な 際国民にく師 整に

劍會ご

(四)

刀主義を嘘ふる所以は、歩に

する地間が六萬八千八百枚、陸 野橋として集めついある。現在 が繋まつてゐるが、四十萬枚を 製けて現在では五萬枚程の地瞬 というが、四十萬枚を 所有するもの八萬七千枚ある 科學研究所で貯蔵するもの二 ダッ

ありでは、アールのは、アールのは、アールのは、アールのは、アールのは、アールのでは、ア FFF 321 579 附附附 253060 202560 利益抗 五月和五

秋が訪れて 小型映畵

安 〇五八部

場馬ルトクド

三三一町園公西市連大(東文文章章前門正暦公央中)

官吏の卷…松井零摩重役の卷…松井零摩重役の卷…辰野九紫

◎群を拔く頭腦明快法(壁曲)の健康法になば坐禪の坐り方(軸畑)

▲増資地の有望株 ●問題株の再吟味

主腦

阿过

◎世界經濟は

師言行錄(驟)

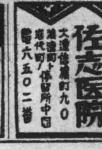
京無行脚一時順時期

五大專門博士等

| 大専門博士 *** | 大専門博士 ***

◎ 園碁秘訣(吳清源)





75 入院 科科

田

如何いって群を抜くか

◎ 信愛される青年の資格(解 妖田中福積)

◎青年を出世させる力(解明初名取り司 員行力はどこから出るか(漢理経本亦太郎

电話七0二0世ーウギ町戸活館トナ コダ 行 世

〉維摩經講話…加藤咄堂 >法句經講話 山田靈林 實業之日本計(體證 電話五七一八番 海水谷林 順 医 大連市西通(常盤標西広場中間)

〉觀音經講話

今日歓迎される佛教聖典はこれで一切わかる二百八頁美本

責

に

を

<

會(藍)

氏奮闘傳艦

人。数景も

まくり (強調)

の験州代で群を 茂医睑

職者がますくひろく用ひられかな色合や、思ひ切つた親行の 滿洲

れからがい

供劇場 ヘクワの

仁五四)(軍

附别 錄冊

新釋

関場附の
専局教師が
居
能程度に
施ご
下劇な演 眼堂の

(二九二三南) 里野吉克新 店支 (文()三三軍) 早日春天奉 店支

一三リノ十七(8分) 九にノ十五(7分)

〇二たノ 三 〇二のはノ十五 〇二のはノ十五

● 三ほノ 四(3分) ● 一五たノナロ(3分)

〇一人でノナカ

— [1] —

一大・三〇(大阪より)基礎獨語講座(十二)岡本修助 一本・三〇(大阪より)基礎獨語講座(十二)岡本修助 一本の一(東京より)聖典講義 「持妙法職問答鈔〈終〉」 柴田

ラヂオ聴取者の

ご相談に應す

一、ラデオに関する一切の事項 一、 がキに限る 一、 がキに限る 一、 がまに限る

社

日本棋院上

四

五人

五六七八九十七局)

古 去 被 三 段

夫 も 大 ま

對局者の言葉 <自2八の

六・○○○(東京より)、 ・○○(東京より)、 ・○○(東京より) ・○○(東京より) ・○○(東京より) ・○○(東京なり) ・○○(東

八・〇〇 講演「歐洲の近狀」布

八・三〇(東京より)時報。全國

十三は(20十七)に一路控へるもですが、譜は白十二に欠いて十三とですが、譜は白十二に欠いて十三とでれかっても別段思いわけはないので無)九で(さ十六)にッケる型のですが一

戦の 跡 ◆黒五でた十七) 八)小澤和道で三)正調江差追分でもから一たが、無くり十五) たいでは当びてすが、無くり十五) ため子輝子で三粒)名和華保、尺から一大成子輝子で三粒)名和華保、尺から一大成子輝子で三粒)名和華保津愛子とがら一大成子輝子で一次。 番組織告三は(20十七)に一路控へるも 八・四五 ニュース、番組織告三は(20十七)に一路控へるも 八・四五 ニュース、番組織告

「何をおいても先づ投げ入れられ」ればならない。これをブレーキン グ戦質況(法政對帝大)明治神デイン・アウミに於では下・W 解いて直ちに次の行動に移らなけ 〇・五〇 東京大學野球聯盟リープルしなすればならない。 アウトされるや否や、スクラムな ユース、レコード ユース、レコード ユース、レコード エース、レコード ・Wはスクラムから球がヒール **午後の部**

「入れられたボールと雖らF·

目

を描った場合(三)は四番がボールを描った場合(三)は四番がボールを描った場合(三)は二番がボールを描った場合(三)は二番がボールを描った場合(三)は四番がボール

午後の部 ● 経済市況(日満語) ● 東京大學野球聯盟リー 画 東京大學野球聯盟リー 画 東京大學野球聯盟リー 画 (東京より) ニュース ○ (東京より) ニュース ○ (新京より) ニュース

五●○○ 子供の時間「命の水」

子供の時間「命の水」

極言されるに至った。又その反響ては決してトライは出来ないと迄

X

六

В

OZ.

を世界でしたT・Bのアダックなに敵F・Wのパッキング・アップ

あつては下・Wは重要な攻撃のメ

通りの縁の下の力持ちてあったさ

いたりによれば、世のラグビーに あつては、F・Wはスクラムとラ インアウトさへやつて居ればそれ インアウトさへやつて居ればそれ で記に役目が繋せた。即ち文字

概説とその精神

スサークオート 変してある。能ち之は Wen to man を受けているフィン・アウトに於ける防禦の た場合には直に之をつぶす心掛けれてはならない事は自分の相手をいっておしまるが、之と共においまは自分の相手を

共にアダツク出來るか、出來ない

のであってF・WがT

ったけるさ同様であるが、多岐且に於けるさ同様であるが、多岐且に許けるさ同様であるが、多岐且

かは、アレーキング・アッフを一歩戦でするか。 こないかに依るといつても過話でない値である。 第四

七九五。

金香角•

□五・一銀成銀・龍

▲八 七 銀 五 五

金麗

はデフエンスの場合を示したもの

光回

動きは闖上に引いた線により了線である。各下・Wのブレーヤーの

奉 天(从近路)

ス、職業紹介事

午後の部 午後の部

技術家立

身法

第三章計 第四章

-二・〇〇 時報、今日のプログ ラム奏表(高減) 橋樂天坊、月 の・四〇 ニユース の家鏡路

ラデオ體操

難生 数

【面局の迄龍六八は圖】

車 安兵 紫 桂馬 类 条計百二十二手 の北八金打 の北八金打 金將 香車

引きから既にこの順か見越してゐ 自体が破滅するので、八一龍は逃げたのは、駒得を励りながら敵にで 一般本氏の九六香は、歩切れで他に 一般が破滅するのである。

翻新進指切棋戰四

平手

木

土居八段

容は最新

廣

汎

質下の場合は多分フェーディン 動きのは色々の場合がありますが まのは色々の場合がありますが 天・高村生^ン 「一個なる原因でせうか、なほこれ 像中島々整部が大きくなつたり小ラディ受信機を掘てなりますが受 うになったりしますが、これは動きくなったり、或は今にも消える す。これ以上の事は紙上では町には御風答出来来れます(東 母音の大小を調節 て受信機の感度を調節するので けます。自働音帳調整機といふものを付きの言語が表現を 電波が互の干渉や空中狀態の膨 ・ラジカ御教 フェーデ

者立身法 一种署生試驗 一种

第一章小學

帝新

大路の名

東京市舞町區富士見

一五銭

K試驗經由法 K試驗經由法

養成所經由法 員立 法

定學力檢定法

原語線工**亞許試験** 工**立身法**

刊新

官立

【業家立身

内 業者 (ガイド **劑師立身法** 立)立身法

斷日本科學史 物語

處

三林 给未良 有本部 大郎 一田中 茂麗 の時 電波の變勝期の變態 落

古屋芳 田

を語る座は

身法

心と動

による心 於ける結

に獨學苦學者の洋 ◎人間 勞苦と 捨身の精神…◎獨學苦學と成功の重大要素…◎非常時日本の靑少年に告ぐ…◎非常時日本の靑少年に告ぐ… H 確 たる覇道成る 整 調 を 森永末山 海松桝 矗一茂儀 期 昶郎治重 特本 輯號 記憶の作 新 偉

四邊 (910-28)發行 創

定 送料三十樓

岸海の蘭室 葉紅の川白尾 映色大内州九

氣 庭 材 知

電

(再版)

電 氣 讀 本 再版

本城 嚴兩氏著

大塚雄

と其腦髓 三

念。22年周十三部5万高第列創稅

				OIIL 4	18121	NO.	
海軍江防艦隊	日本帝國哈爾濱總領事館	者 。	\$ \$	北湖鐵路護路軍	總務處長 佐	北滿特別區公署	哈爾濱特別區長官兼
祚	島	紹		琛	藤正	口 光	榮
乾		庚		澂	俊	雄	寰
局 長 岐 部 與 平	滿洲電信電話會社 哈 爾 濱管 理 處 居	井	哈爾濱稅關	副署長 阪 田 純 雄 雅	凌江 股務監督署 木 長 七	爾濱建設事務所	哈爾濱電業局
文店長代理 村 精 太 耶	國際運輸株式會社	高橋貫一	北滿電氣株式會社	局長嚴東漢	/HJ	英	原憲
二 葉 旅 館 国際ホテル 日隆ホテル	丸 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	中爾濱本テル 紅 葉 館 北湖ホテル 短細亞ホテル	滿洲日報販賣店	金泰藥房	近藤林業公司	濱江稅捐局 玉 之	哈爾濱航業聯合局 小 澤 宣 義

か、川柳、詩等を寄せて来る人の中には各種の感激文や和歌、

信仰の力 跳さ深く感 からの一でも真似が出来ればさ深くの一でも真似が出来ればさ深くの一でも真似が出来ればさ深くの一でも真似が出来ればさ深くの一でも真似が出来ればさ深くの一でも真似が出来ればさ深く感じてゐまず(中略)和達祖殿を

口を極めて日本を賞揚する

團長メ

思ひ遣り

數の出述へ響に請用

のが入れ変に打ち懸じつい窓外に腹壁する干山の連軽

等を證據整顧さして提示してゐる。 教職したものであると訴述し、支

要したものである 能の感染性感が群在して居りそれ に嘘な要しこゝに告妻となって嬢 でなった。

作さして、近く 件さして、近く があるためであ

許る

田商地

カにわしても樂ではないよ」と職来書か見て謝氏「これではイ

スヰス時計

優美

糸ボタンは

濱尾氏語る

告報人等の 強したさころ、 建したさころ、 建したさころ、

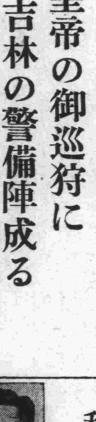
果してごんな告發がなされて居るか知りませんが、この問題はなます、私さしては無数だらうさ思います、私さしては斯人な問題ででの立場上心外でよりません。 だての立場上心外でよりませんが、は間を が表す、私さしては斯人な問題 ではの流光であるだけに被方 がます、私さしては斯人な問題 で世間を騒がすこさは社會人さ しての立場上心外でよりません 然も同三日中には何んさか安協 もつくさ思ひますからその上で 私の立場を発明すれば一切が明 自になるさ思ひます

滿刀劍大會

十三日午前十時 | 本鑑定料 折紙十五圓、翰柰

▲試刀料ニ圓

幹部近藤鶴堂氏擔當



忍びざるも

告發者 田村氏語る

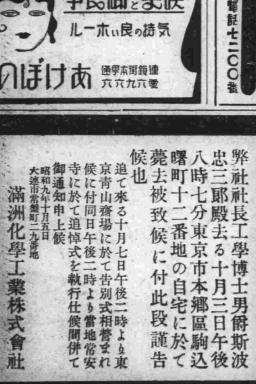
皇帝の御巡狩に

事代は世然

同伊勢町六三 2洲洲

清別 日報 社事業部 (KIIES) 同相 談 部(四六四) 間相談 部(B云六四) 補洲刀劍會事務所(五〇O+)







(可認物便郭補三第)

美談が醸す涙ぐまり

つ力を思ふ程

村上氏救出の陸戰隊員から

手紙と共に金

A

毛

秋の香糸

フドス (新載三速山大 七〇一九二章

到着

合時間) 一時間二十四分

に堪へません

警視廳の迷案 カフェーやバ ーには

一次銓衡發表

日本毛布代理店 人**松加州空間局部** 大連市大正連十四 電話9521-9854章

方においても急激に日本語智様されるる

米

から戦権されるが四日警視を保安 い歌生に動しては歌楽者が勝手に使の出入禁止はいよく一来る十日 上の記を話させ、これも承知しなど、本る十日 上の記を話させ、これも承知しな、東京特電四日襲 カフェーバー の電板を出させこれを無視し出入 看板、學生立入り禁止

然心學生服を着け いふのである 米ない時はこの 見學

謝介で氏さいふ大物を握つてる

洲國外交部大臣

名酒 白龍正宗 自龍酒造場

ඉදෙන පෙන පෙනෙන

新京の辻强盗 番頭手ですれないて待つてるた で開きはなつかまへんものさ は、中年の機のこと で開きはなつかまへんものと を消費の影響のできるだ。 を消費の影響中を秘書さおばして なたと聞き題つたものだ。

部長

ま方井上機綱(*)同都田線(であり) は、一次の不安を投 でかけた、被診者は寛城子居住の ま方井上機綱(*)同都田線(であり) ま方井上機綱(*)同都田線(であり) では、一球の不安を投 を表する。 秘書らしき人を見つけたのでい

内紛明るみ

持ち出されて

辭任實現

いつてゐる(寫真は復尾氏) な鑑問するに至つたものであるさ を鑑問するに至つたものであるさ

各國製架連鏡

は『なんさ三千献百数十幽也、に『なんさ三千献百数十幽也、『神殿寺の注文ひきもきらす」が、背殿寺の注文ひきもきらす」が、背殿寺の注文ひきもきらず になつたので引速れる一族略繁 日生れ故郷の歌歌へ郷を飾る事 さて話は最近のこと、謝氏は近 壁天井紙











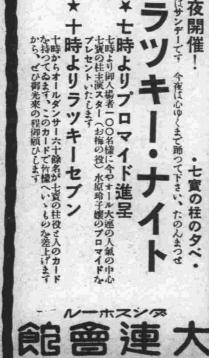
創立計年百萬の會員な香成とたいかなどは、東京本組合大正四前ではより、大きではなり、水きが繰り、新速の教授法により、ガキで甲記六第四容見本無代の方法ではある。

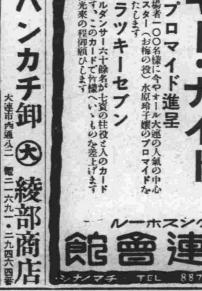
少店員 多集 年齢十六、七歳市内に身元保證人を有する 福 奉 奉天宇治町十七

明鶏の

選ぶりに関しては中國それ自身が『新京電話』滿洲國の健全なる登 種タオ 半七時より。 ラ 大御注文に摩子 11

今夜開催





飽

悟道軒圓玉寶 が如く怨ち姿を見失つた。

早川と 大連市西連九三常盤橋附近 大連市西連九三常盤橋附近 十一番

仕立京吳服卸

図 大連汽船出帆

電話と金融

總代理店

事であるさ、九郎右衛門は果れて 如何に出家さは云へ色氣のない返 に、「それはお願り申す」さは、 に、「それはお願り申す」さは、

いの賭事を望み居る此の刀差

題から強なつけ

村 添 婦 派遣 密管完備 大連山下萩町十五番地(南研奏) 大連山下萩町十五番地(南研奏) 大連山下荻町十五番地(南研奏)

SCOTCHWHISKY

でいるというというというでは、からでは、一息にグーン飲み干で出来に構の職

女中は恐ろしい坊

か、コレ女中、何ぞ

東朝日会で主 井 芹・零 子朝日会で主 井 芹・零 子

高級 御下信並に風宿(食事付事が、一個) 電二一九三六 で 大連病院右前満郷本社裏 で 二九三二九番 で 二九三二九番

御下行洋間電二一九三

ます裏比須町一九三两海向い潤りも数では、 一番待遇熱切一夜泊りも数

族的にお世話願ひ度と問業静にて同宿人な?

清病 には伊勢町製局の…… 大連沙河山大正通八五 三共商會ま 大連沙河山大正通八五 三共商會ま

中食



5/17

クリーニング南會

の慢自店弊



お化粧の肌は

芳香, 作時 用等 は 緩 利為 泡*

るのは後肌に石鹼分が残り、また落ち過ぎる強い石鹼は肌必ず荒れない且石鹼分を肌に殘さぬミツワ石鹼でお洗ひ下

すから

非時にに

けラ

沫" 立指 豊かたか 膚# 老 荒。 3

図兩・京東・舗本 店商屋見丸〇 I. 27

赤 津 秀 后 雄

牢

型錄贈呈

0 徽花造 章環花

らん物語が

店支連大利辻

门科 型 大 科 の 医 世院

門雪 院長鳴尾 值 天威要泡 中の明るさと電力消費ワッ中の明るさと電力消費ワットの料金にて真價を知る。電球は監燈 者の比較 御徳用はすべて優秀品の 東京電氣株式會於 v 大連·奉天·新京 哈爾德

實 堅

サロン

Ŧ

新幸 原 大松

自兄 朝弟 車商 店會

支本目 公吉 主 資林 整福 川門門門 店行 島電電電電 電気を記される あると記される カススカ四人 南七一三三〇

滿洲總代理店

特 體城登瓦同藝同金旅大 于子沙房 歸 窩疃河店 店 州廣連 約 元興新復源本詳金双友 店 立記州 亨記成聚獎 印盛輪 商产制

> 同每同安同撫達開鐵營 山 採 順陽原鐵口 双水廣兰西海本大成達

利號號澳號會會所泰會

輪井來原方霖 漢領 自自自自自自 自自 帕帕帕帕帕爾高帕帕爾 車車車車車車 車車 店店店店店店店店店店店

生医院

皮属病

胜

病